

資料1

未定稿

葉山町地域公共交通計画（素案）

令和7年●月

葉山町

目次

第1章 計画の目的と位置づけ	2
1 計画の目的	2
2 計画区域	2
3 計画期間	2
4 上位計画・関連計画の整理	2
第2章 葉山町の概況	3
1 位置・地形	3
2 土地利用状況	4
3 人口動態	5
4 主要施設分布状況	9
第3章 地域公共交通の現状	10
1 鉄道	10
2 バス	11
3 交通不便地域	13
4 タクシー	14
5 その他移動支援策	14
第4章 移動実態及びアンケート調査	16
1 移動実態	16
2 葉山町の公共交通に関するアンケート調査結果	22
第5章 地域公共交通における課題	27
1 町内バスネットワークに関する課題	27
2 地域コミュニティにおける移動に関する課題	28
3 通勤・通学時間帯の渋滞に関する課題	28
4 観光交通に関する課題	29
5 環境への影響に関する課題	29
第6章 基本方針と計画目標	30
1 基本方針と計画目標の設定	30
第7章 基本目標を達成するための事業と評価指標等	31
1 事業実施の考え方	31
2 事業の詳細と目標値	31
3 住民アンケートによる評価	37
4 事業の関係機関等と実施予定時期	37
第8章 計画の実現に向けて	38
1 計画の進行管理・達成状況の評価	38
2 実施体制	39
資料編	40
1 葉山町地域公共交通会議	40
2 葉山町の公共交通に関するアンケート	43

第1章 計画の目的と位置づけ

1 計画の目的

葉山町（以下「本町」という。）では、路線バス（京浜急行バス株式会社（以下「京急バス」という。））及びタクシー（JR 逗子駅構内タクシー組合4社）が運行されており、町民、来訪者の移動手段として重要な役割を担っています。しかしながら、将来見込まれる人口減少、高齢化の進行による労働者不足、地球温暖化に起因する気候変動がもたらす環境変化や異常気象、新型コロナウイルス感染症のような緊急事態の発生など、先行きが不透明な時代へと移り変わりつつあります。

このような先行きの見通せない時代にあっても、町民、事業者、行政など地域に関わる全ての人で公共交通を支えるため、また、移動手段としての交通に限らず、道路をはじめとしたインフラなど、交通に関わる全ての事項を網羅し、未来にわたって持続可能な公共交通の仕組みを構築するため、葉山町地域公共交通計画（以下「本計画」という。）を策定します。

2 計画区域

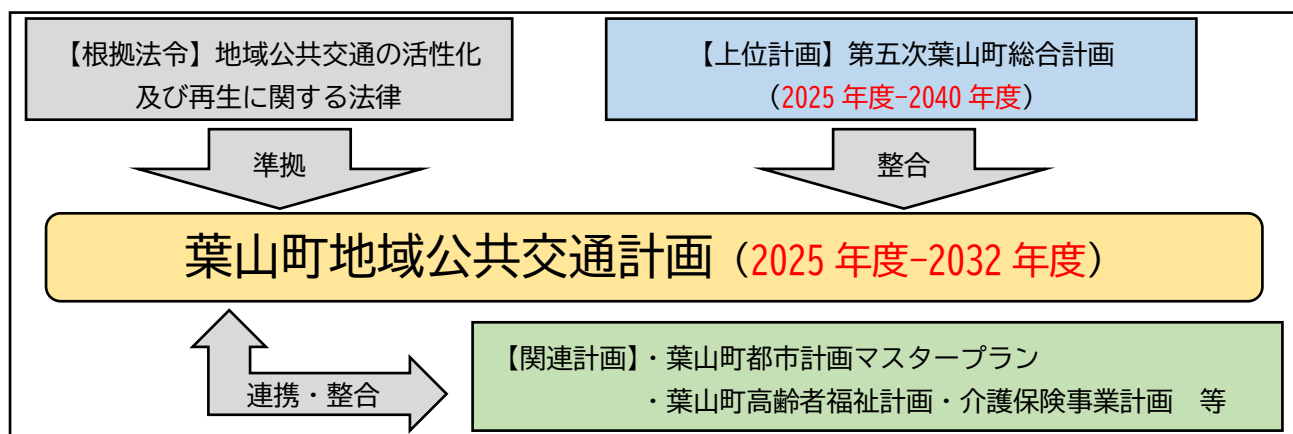
本計画の計画区域は葉山町全域としますが、必要に応じて近隣自治体等との連携を図り施策を遂行することとします。

3 計画期間

本計画の計画期間は **2025（令和7）年度から2032（令和14）年度**までの8年間としますが、計画の期間内においても、社会情勢の変化や関連計画の見直しなどに適応するよう必要に応じて計画の見直し・修正を行います。

4 上位計画・関連計画の整理

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画であるとともに、本町の最上位計画である「第五次葉山町総合計画（2025年度-2040年度）」と整合し、「葉山町都市計画マスタープラン」、「葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」等の関連計画との連携・整合を図りながら、本町の地域公共交通の根幹と位置づける計画です。



第2章 葉山町の概況

1 位置・地形

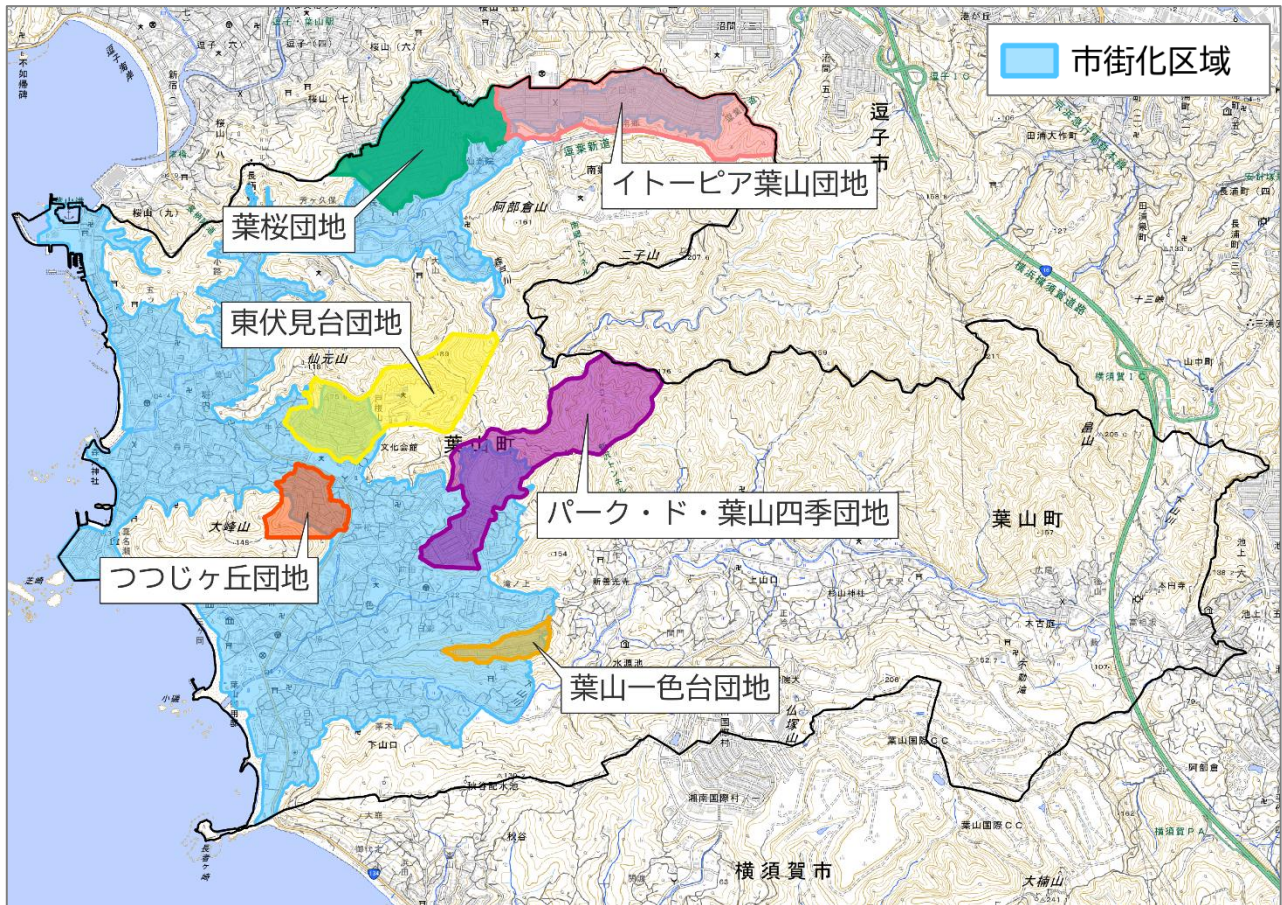
本町は、神奈川県三浦半島の西北部に位置し、美しい海とみどり深い山々など豊かな自然に恵まれたまちで、古くから避暑避寒の地として知られ、多くの名士の別荘や居宅が設けられました。現在でも、御用邸の存在や美しい景観によって「静かで品のある落ち着いたまち」というイメージが定着しています。面積は17.04平方キロメートルで東西にやや長く、西半部は、市街化が進んでいます。

地形は、南東に三浦半島で一番高い大楠山から連なる宝金山や峰山の丘陵、北東に大山、二子山等の丘陵、町の中央に大峰山と3つの山塊があり、これらの山々を水源とする下山川、森戸川が西へ流れ相模湾に注いでいます。そして、2つの河川の河口の海岸寄りに狭い平野がひらけています。



2 土地利用状況

本町は面積の約 60%を山林が占めており、住宅地は約 20%となっています。市街化区域である町西部から北部にかけて、1960年代から1970年代にかけて山林を切り拓いて造成された大規模な住宅団地が多く存在しています。2020年9月時点でこれらの団地に住む人口は約7,400人となっており、全体の約22%となっています。

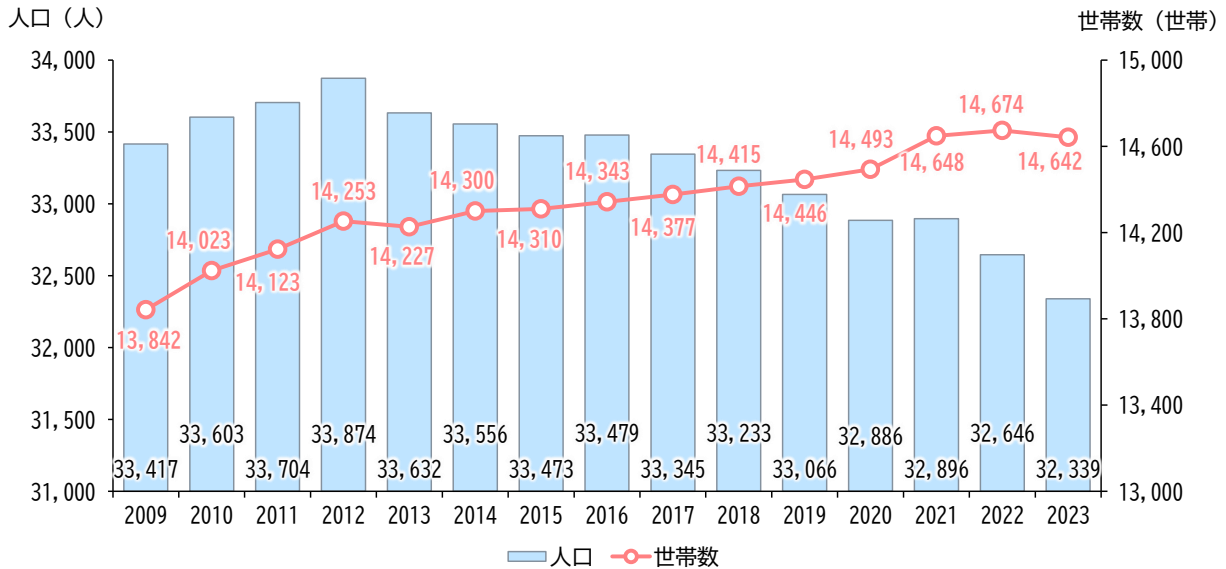


3 人口動態

(1) 人口と世帯数の推移

本町の人口は2012年にピークを迎え33,874人となりましたが、その後は減少傾向にあり、2023年10月1日時点では32,339人となっています。世帯数についてはやや増加傾向にあります。

■人口及び世帯数の推移



年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
人口	33,417	33,603	33,704	33,874	33,632	33,556	33,473	
世帯数	13,842	14,023	14,123	14,253	14,227	14,300	14,310	
年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
人口	33,479	33,345	33,233	33,066	32,886	32,896	32,646	32,339
世帯数	14,343	14,377	14,415	14,446	14,493	14,648	14,674	14,642

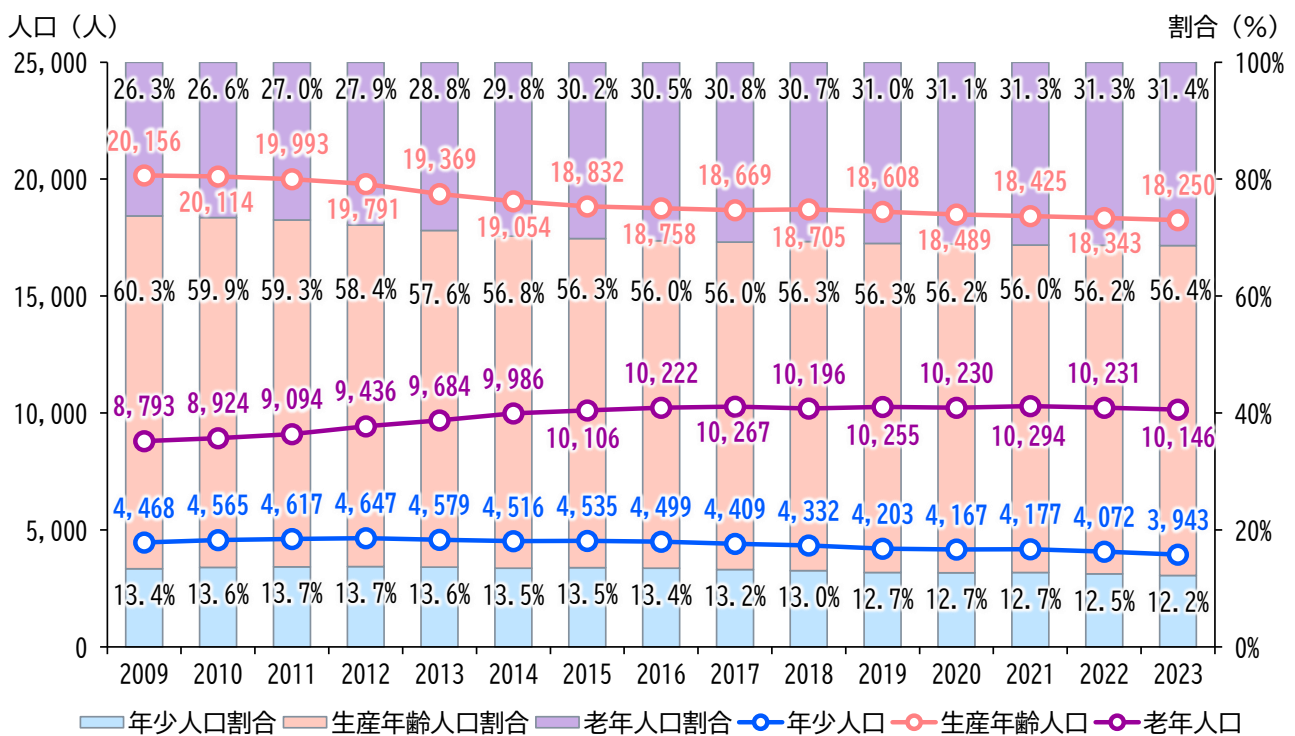
年度⇒年に修正します。

毎年10月1日時点 住民基本台帳より

(2) 年齢3区分別人口の推移

本町の年齢3区分別人口の推移については、年少人口（0～14歳）は人口のピークである2012年を境にやや減少傾向にあります。生産年齢人口（15～64歳）も年少人口と同様に減少傾向にあります。構成比で見ると2015年から概ね横ばいとなっています。老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、構成比でも31.4%と全国平均を上回る高齢化率となっています。

■年齢3区分別人口の推移



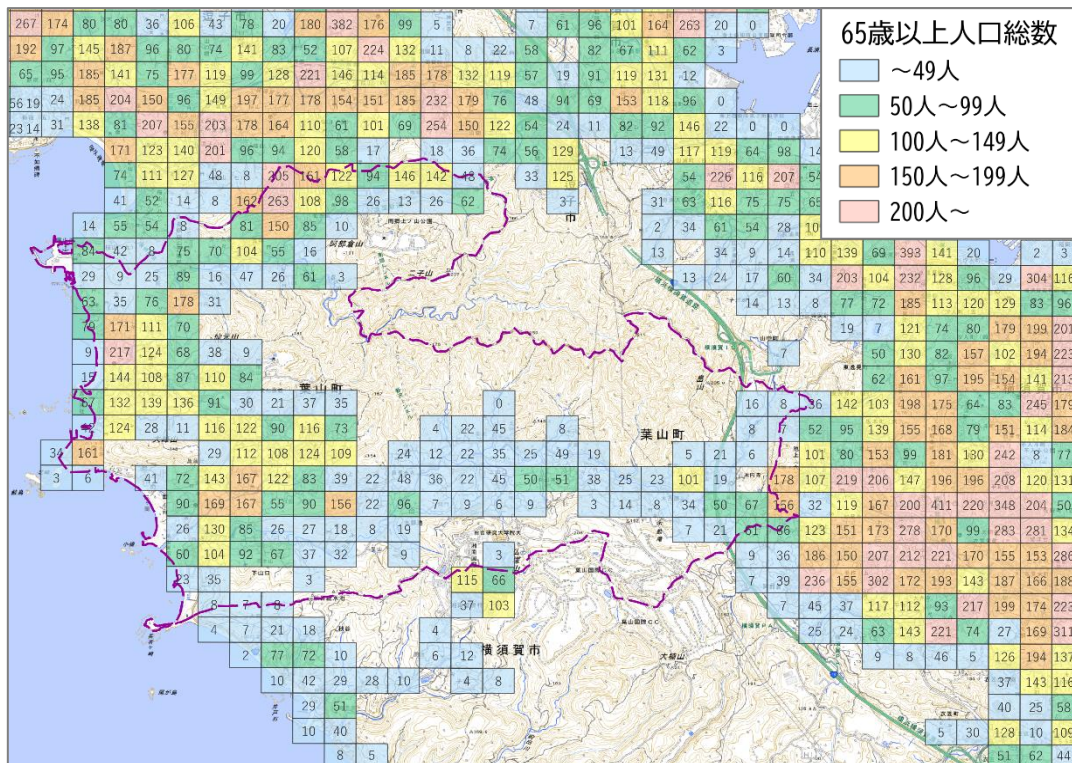
年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
年少人口	4,468	4,565	4,617	4,647	4,579	4,516	4,535	
年少人口割合	13.4%	13.6%	13.7%	13.7%	13.6%	13.5%	13.5%	
生産年齢人口	20,156	20,114	19,993	19,791	19,369	19,054	18,832	
生産年齢人口割合	60.3%	59.9%	59.3%	58.4%	57.6%	56.8%	56.3%	
老年人口	8,793	8,924	9,094	9,436	9,684	9,986	10,106	
老年人口割合	26.3%	26.6%	27.0%	27.9%	28.8%	29.8%	30.2%	
年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
年少人口	4,499	4,409	4,332	4,203	4,167	4,177	4,072	3,943
年少人口割合	13.4%	13.2%	13.0%	12.7%	12.7%	12.7%	12.5%	12.2%
生産年齢人口	18,758	18,669	18,705	18,608	18,489	18,425	18,343	18,250
生産年齢人口割合	56.0%	56.0%	56.3%	56.3%	56.2%	56.0%	56.2%	56.4%
老年人口	10,222	10,267	10,196	10,255	10,230	10,294	10,231	10,146
老年人口割合	30.5%	30.8%	30.7%	31.0%	31.1%	31.3%	31.3%	31.4%

年度⇒年に修正します。

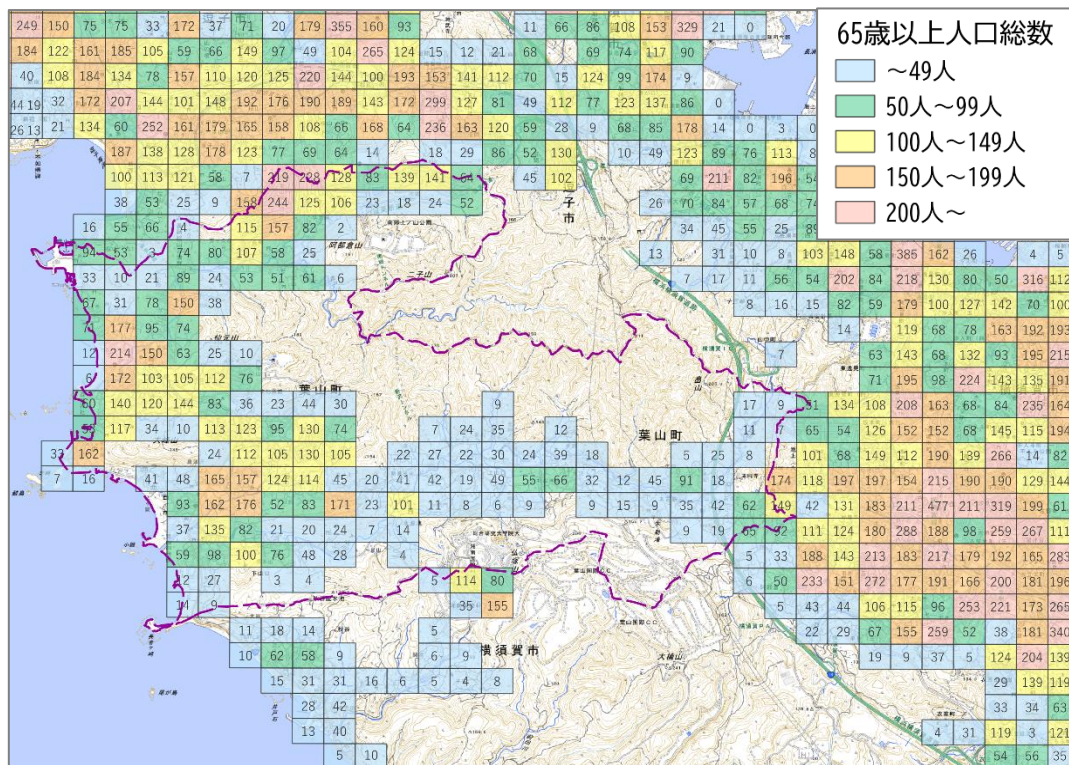
毎年10月1日時点 住民基本台帳より

(3) 人口250mメッシュ内の高齢化人口

国勢調査を基にした2015年と2020年の65歳以上の人口を比較すると、多くの地域で65歳以上の人口が増えていることがわかります。



2015年国勢調査より

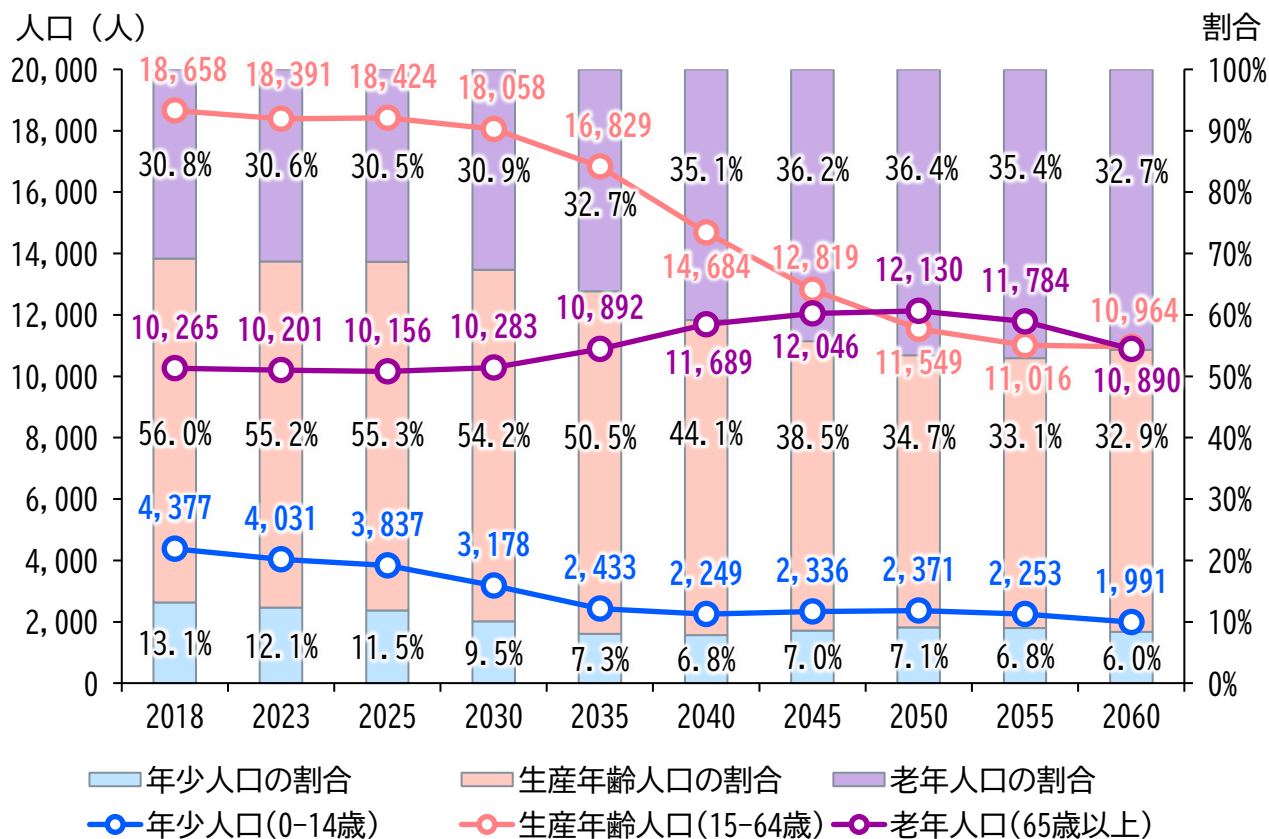


2020年国勢調査より

(4) 将来人口

2023年時点で32,623人となっている人口は、2045年には27,201人、2060年には23,845人となることが推計されています。総人口は、2060年は2023年と比べて26.9%減少することが見込まれます。年齢区分別に見ると、2050年から2055年にかけて、生産年齢人口の割合よりも老年人口の割合が高くなることを見込まれ、年少人口の割合は2023年の12.1%から2060年には6.0%へ半減することが見込まれます。

■2060年までの人口推計

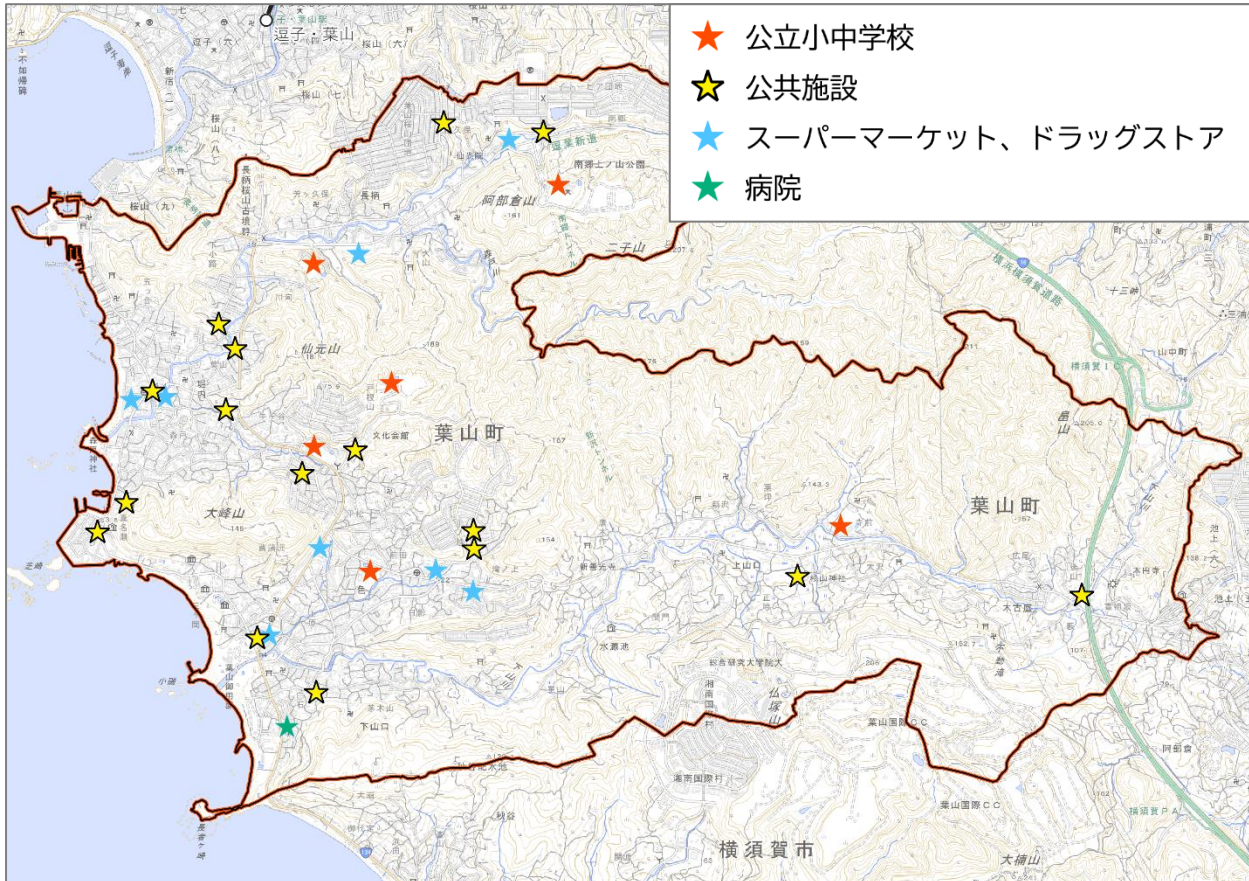


	2018	2023	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総人口(人)	33,300	32,623	32,417	31,519	30,154	28,621	27,201	26,050	25,052	23,845
減少率	102.1%	100.0%	99.4%	96.6%	92.4%	87.7%	83.4%	79.9%	76.8%	73.1%
年少人口(0-14歳)	4,377	4,031	3,837	3,178	2,433	2,249	2,336	2,371	2,253	1,991
年少人口の割合	13.1%	12.1%	11.5%	9.5%	7.3%	6.8%	7.0%	7.1%	6.8%	6.0%
生産年齢人口(15-64歳)	18,658	18,391	18,424	18,058	16,829	14,684	12,819	11,549	11,016	10,964
生産年齢人口の割合	56.0%	55.2%	55.3%	54.2%	50.5%	44.1%	38.5%	34.7%	33.1%	32.9%
老年人口(65歳以上)	10,265	10,201	10,156	10,283	10,892	11,689	12,046	12,130	11,784	10,890
老年人口の割合	30.8%	30.6%	30.5%	30.9%	32.7%	35.1%	36.2%	36.4%	35.4%	32.7%

毎年1月1日時点 住民基本台帳より

4 主要施設分布状況

町内には公立の小中学校が6校（小学校4校、中学校2校）あります。集会所等の公共施設は点在していますが、一部では周辺に集会所等が全く無い地域もあります。日常の買い物に使う小売店は9店舗あり、スーパーマーケットとドラッグストアのほか、町の玄関口である逗葉新道の長柄インターチェンジ付近にはハマステーション（複合商業施設）があります。



第3章 地域公共交通の現状

1 鉄道

本町内には鉄道駅がなく、逗子市内又は横須賀市内の駅が最寄り駅となります。逗子市内ではJ R横須賀線の逗子駅と京浜急行逗子線の逗子・葉山駅、横須賀市内ではJ R横須賀線の衣笠駅、京浜急行本線の汐入駅が最寄り駅となっています。

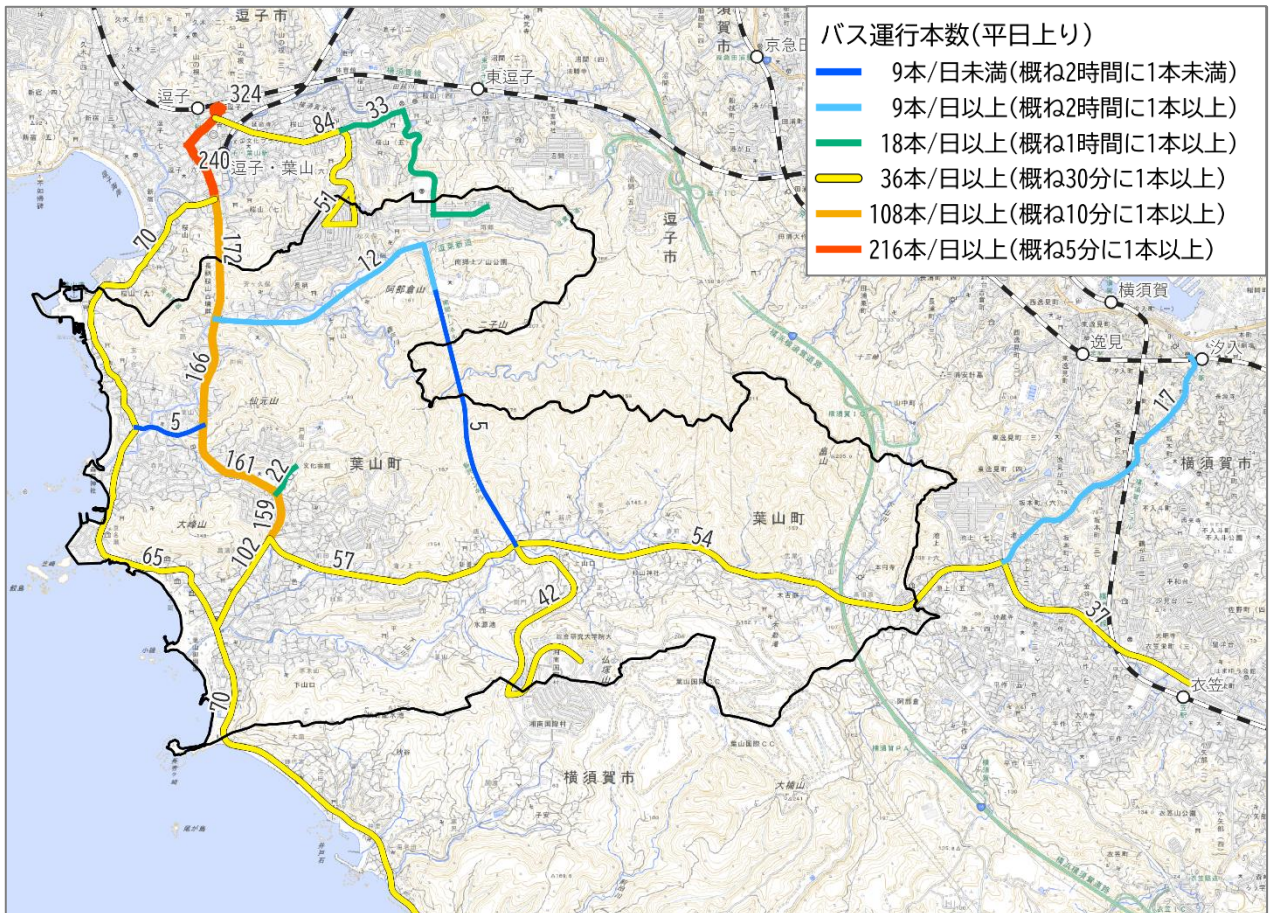


2 バス

本町のバス網は、主に逗子駅及び逗子・葉山駅への乗り入れを中心とする路線バス（京急バス）によって形成されています。

(1) 路線バス

路線バスは、主に町内の幹線道路に沿って運行されており、平日の上り路線の多くは概ね30分に1本程度のダイヤで運行されています。



国土数値情報バスルート（2022年）及び2024年7月現在の時刻表を基に作成

町内には 88 か所のバス停留所があり、そのうち 48 か所バスベイが設置されています。本町は開発等の際に神奈川県や事業者と協議してバスベイ設置を進めてきましたが、海岸沿いの道路は幅員が狭く、バスベイ未設置のバス停留所が多くあります。



2022 年 3 月には、旧役場前バス停留所（逗子行き方面）に「木造・銅葺き屋根」のバス停上屋が完成しました。



旧役場前バス停上屋お披露目式の様子（2022 年 3 月 28 日）

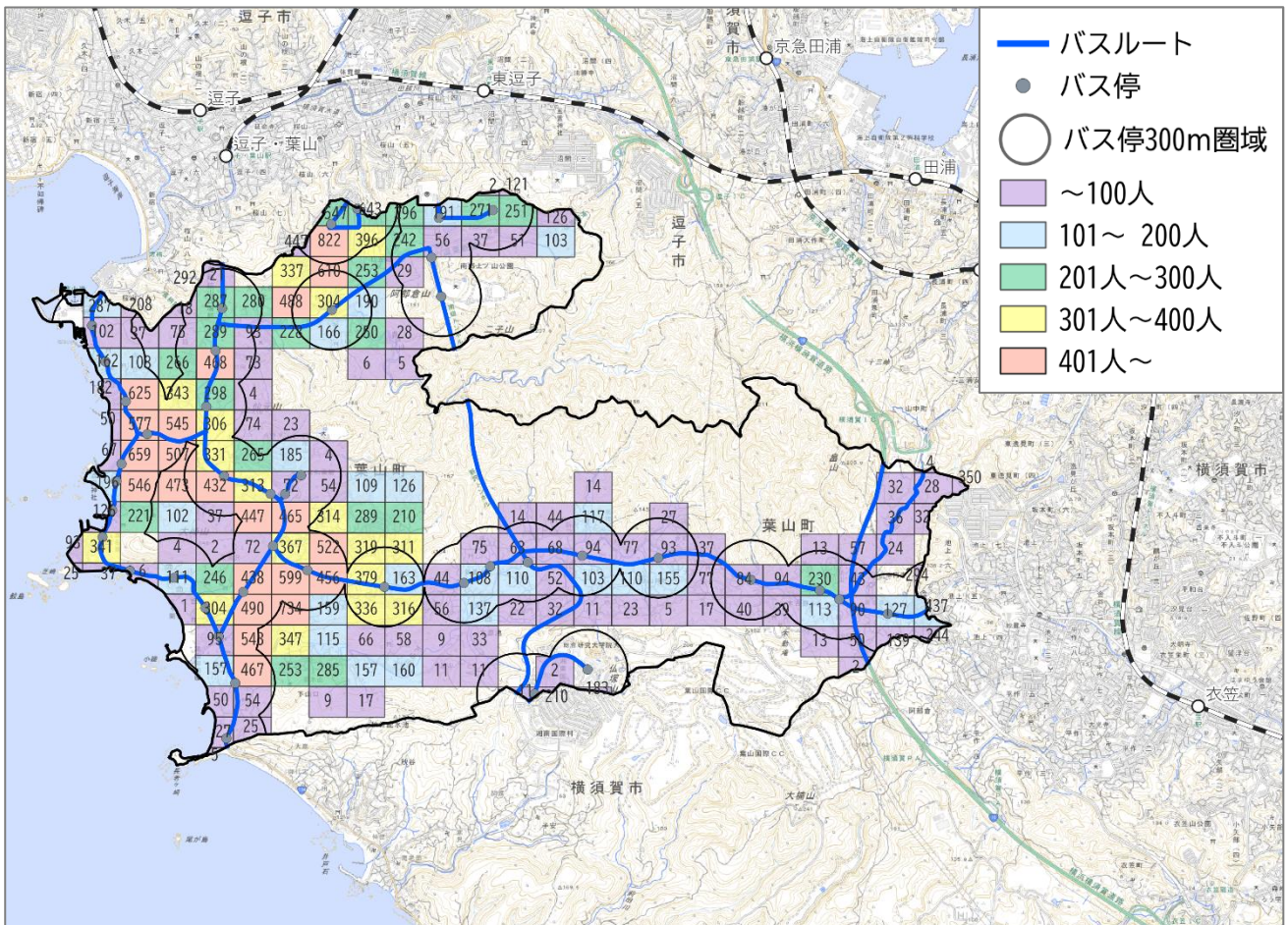
(2) その他のバス

その他のバスとしては、京急バスが運行する高速バスが発着しており、葉山・横須賀西地区から横浜駅 YCAT（横浜シティ・エア・ターミナル）間の路線が運行されています。

3 交通不便地域

本町を運行する路線バスの多くは幹線道路沿いを運行しています。多くの住宅地は幹線道路から近い地域にありますが、バス停から 300m以上離れた地域や、町内へアクセスするバス路線のない地域、山や丘の上に造成された住宅団地においてバス停までに坂がある地域など、住民の負担がある地域もあり、これらの地域について、本計画では「交通不便地域」とします。

バス交通が利用可能な人口は約 22,900 人であり、全人口の約 74%となっています。（総務省統計局の 2020 年国勢調査地域メッシュデータを利用して、バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を停留所から徒歩 300m 以内とした。）



人口：2020 年国勢調査より バスルート、バス停位置：国土数値情報より

4 タクシー

(1) 一般タクシー

本町の一般タクシーの営業区域は湘南交通圏（鎌倉市・逗子市・葉山町）に属しており、JR 逗子駅構内タクシー組合への加盟事業者が町内を運行しています。また、湘南交通圏域には個人タクシー事業者はいません。

一般タクシー事業者名	
逗子菊池タクシー（株）	京急葉山交通（株）
（有）富士タクシー	逗子葉山タクシー（株）

(2) 福祉タクシー等

本町及び逗子市に事業所を置く福祉タクシー事業者は9者おり、全て介護保険の対象外の事業者です。町内に事業所を置く福祉有償運送事業者はいませんが、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市とともに「横須賀・三浦地区福祉有償運送市町共同運営協議会」を設置し、三浦半島地域でのサービス充実に向けて協議しています。

5 その他移動支援策

(1) 公有地等へのシェアサイクルステーション設置（2024年7月開始）

移動利便性向上のため、事業者と連携し、役場敷地を含む公有地等へシェアサイクルステーションの設置を行っています。

(2) 障害者へのタクシー券、燃料給油券の交付

在宅の重度障害者の外出、社会参加促進のため、一定の障害がある方に対し、タクシー券の交付又は自動車燃料費の一部助成を行っています。

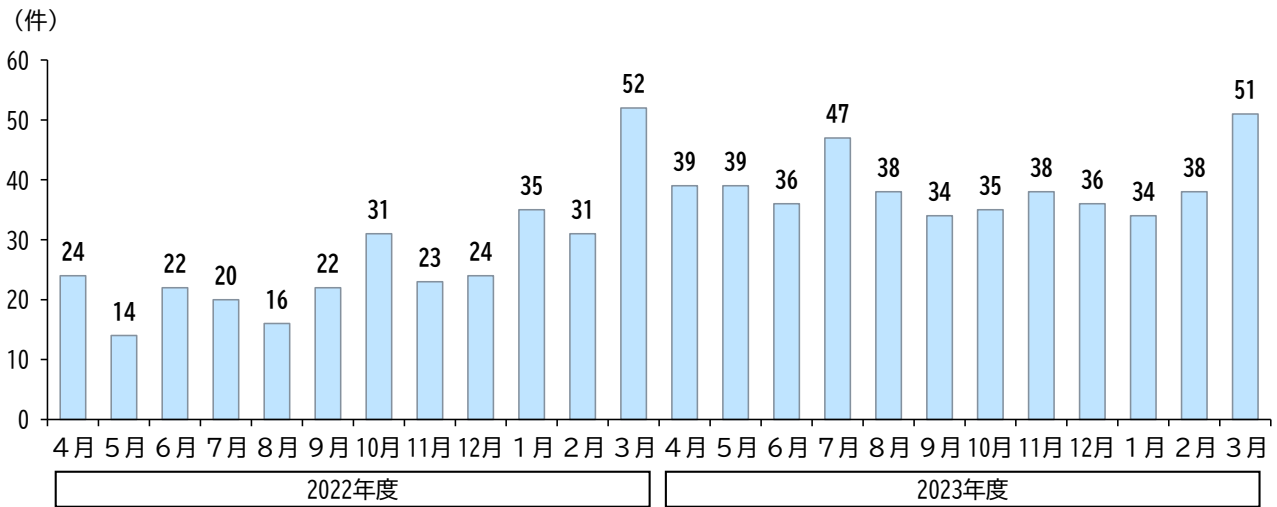
(3) 京急ふれあいパスの一部費用助成

京急バスでは、満70歳以上の方を対象に京急バスの路線バス全線が乗り放題となる京急ふれあいパスを販売しています。本町では、高齢者の外出の機会を増やし、健康維持に役立てていただく目的で、購入費の一部を助成しています。

(4) 高齢者等送迎サービス利用件数

身体機能の低下により自家用車や公共交通機関を利用して買い物や病院への通院、入退院、施設への入退所が困難な方へ無料送迎を行っています。

■高齢者等送迎サービス利用件数



2022・23年度高齢者等送迎サービス事業委託実績報告より

(5) 高齢者おでかけタクシー券の交付（2024年9月開始）

高齢者の外出支援のため、満75歳から満79歳で運転免許証をお持ちでない方、または満80歳以上の方へ、高齢者おでかけタクシー券の交付をしています。

(6) 通学費助成金

町内在住で町立中学校にバスを利用して通学をしている生徒の保護者で、自宅の最寄りの停留所から学校付近の停留所までの乗車区間にかかる金額式IC定期券を購入した方を対象に、費用の一部を助成しています。

第4章 移動実態及びアンケート調査

1 移動実態

(1) 昼夜間人口の割合

2020年国勢調査によると、本町の昼間人口の割合は夜間人口の77.8%となっており、県内で4番目に町外に流出する割合が高くなっています。

■昼夜間人口の割合

	1位	2位	3位	4位	5位
流出割合高	川崎市宮前区	二宮町	真鶴町	葉山町	横浜市泉区
	74.5%	75.4%	76.3%	77.8%	78.7%
流入割合高	横浜市西区	横浜市中区	箱根町	中井町	川崎市川崎区
	190.2%	160.0%	153.3%	129.2%	116.2%

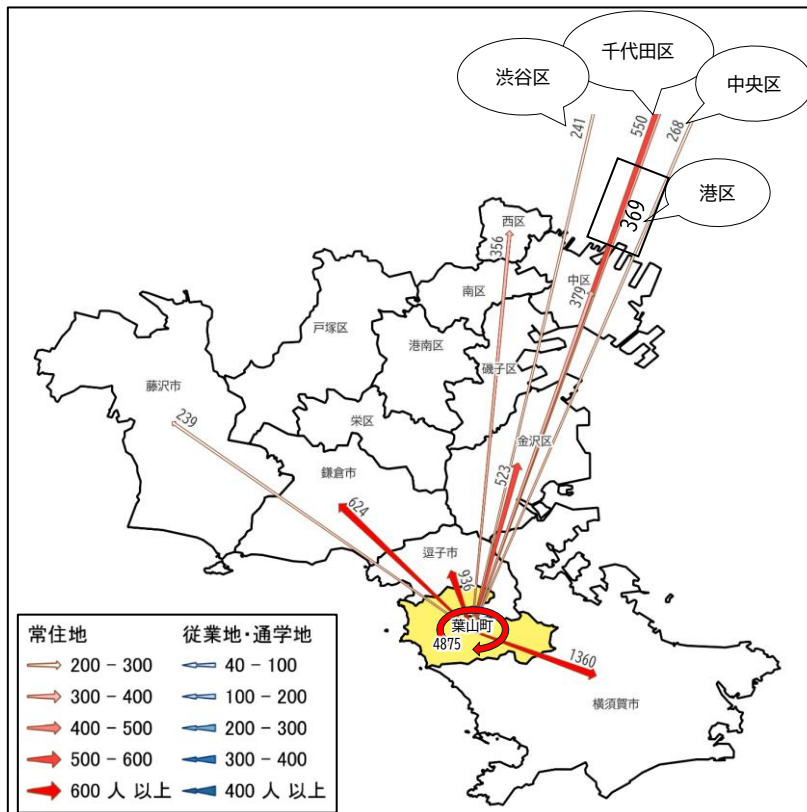
(2) 他自治体への移動実態

①通勤流動（流出）

町内に通勤している人が最も多く4,875人となっています。

町外への通勤を見ると、横須賀市（1,360人）、逗子市（936人）と近隣市が多いほか、東京都心への通勤も多く見られます。

■葉山町から他市区町村への通勤流動図

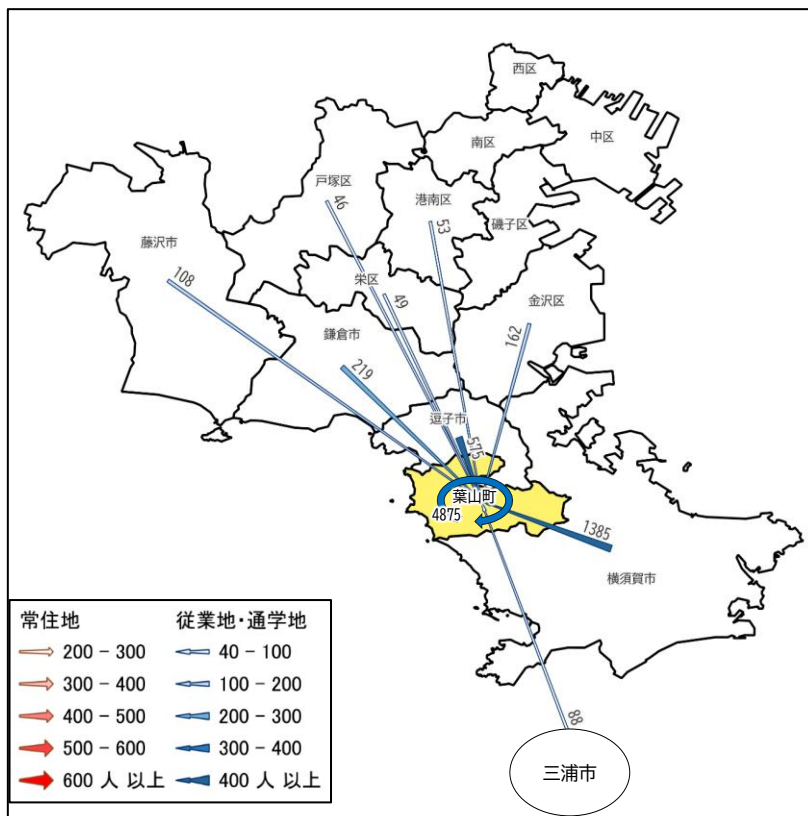


資料：2020年国勢調査より

②通勤流動（流入）

町外からの通勤を見ると、横須賀市（1,385人）、逗子市（575人）が多くなっています。他市区町村への流出とは異なり、近隣市からの流動が中心となっています。

■他市区町村から葉山町への通勤流動図

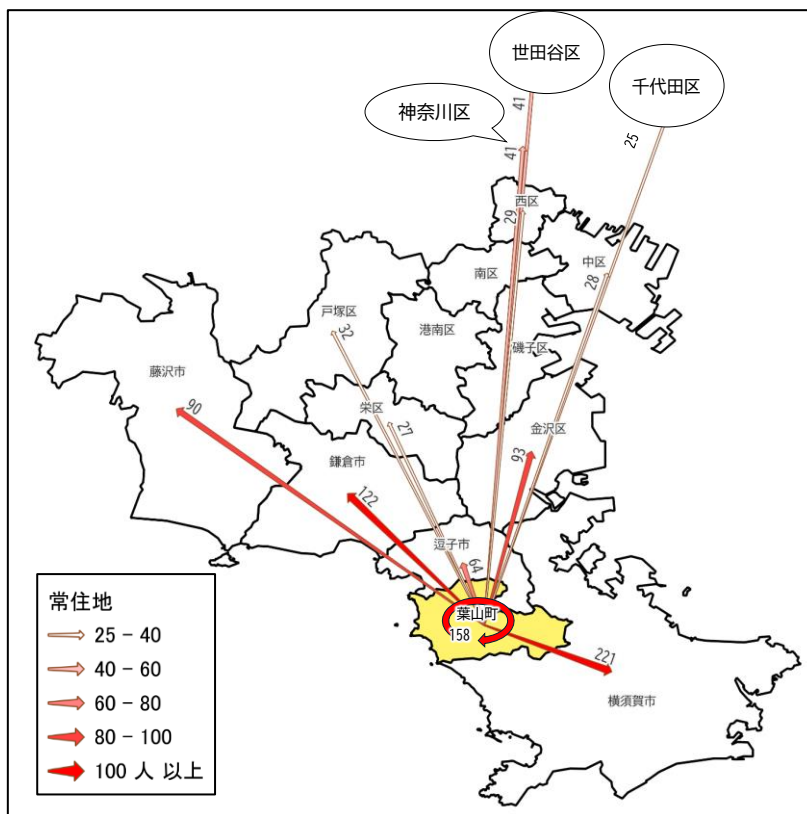


資料：2020年国勢調査より

③通学流動（流出）

横須賀市に通学している人が最も多く 221 人となっており、次いで町内（158 人）、鎌倉市（122 人）が多くなっています。

■葉山町から他市町への通学流動図



資料：2020 年国勢調査より

(3) 通勤・通学者の移動手段別の移動実態

2020 年度国勢調査によると、町内へ通勤・通学する町民は 3,006 人、町外へ通勤する町民は 10,149 人となっています。町内へ通勤・通学する人で、最も多い移動手段は自家用車のみによる移動となっており、その割合は全体の 31.6%となっています。町外へ通勤・通学する人で、最も多い移動手段は電車とバスによる移動となっており、その割合は全体の 35.2%となっています。

通勤・通学先別、上位5つの移動手段

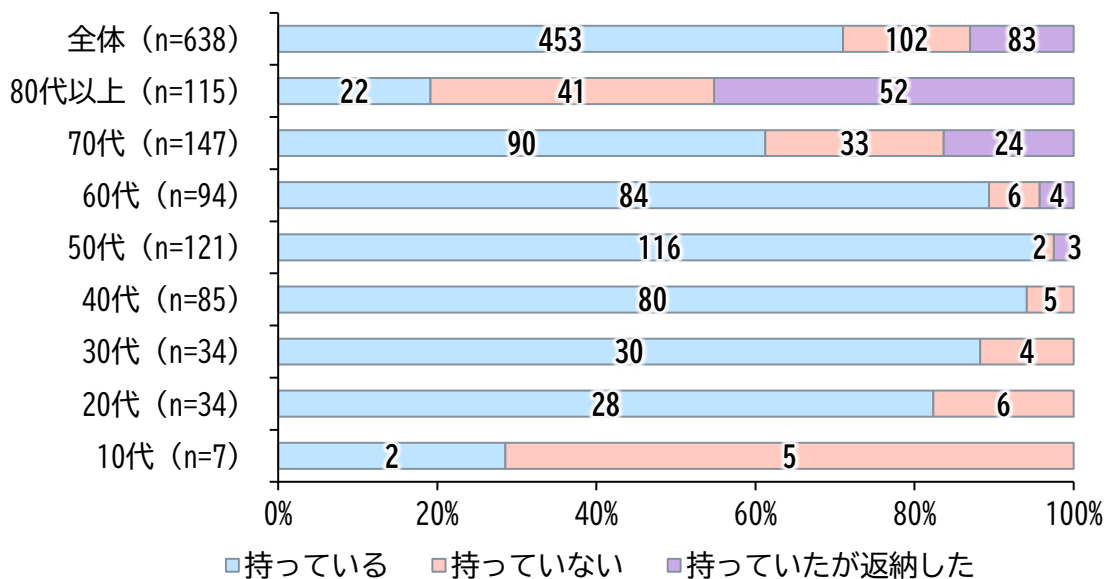
通勤・通学先	1位	2位	3位	4位	5位
町内 合計 3,006 人	自家用車のみ	徒歩のみ	自転車のみ	オートバイのみ	バスのみ
	951 人	872 人	349 人	301 人	210 人
	31.6%	29.0%	11.6%	10.0%	7.0%
町外 合計 10,149 人	電車+バス	自家用車のみ	電車のみ	3種類以上の移動手段	バスのみ
	3,577 人	2,305 人	1,258 人	568 人	444 人
	35.2%	22.7%	12.4%	5.6%	4.4%

2020 年度国勢調査より

(4) 運転免許証の所持率について

本町が 2022 年度に実施した葉山町の公共交通に関するアンケートによると、運転免許証の所持の有無を尋ねる設問（回答人数 638 人）のうち 71%にあたる 453 人が持っていると回答しました。年代別の所持率を見ると、60 代では約 89%となっている一方で、70 代では約 61%、80 代以上では約 19%となっています。

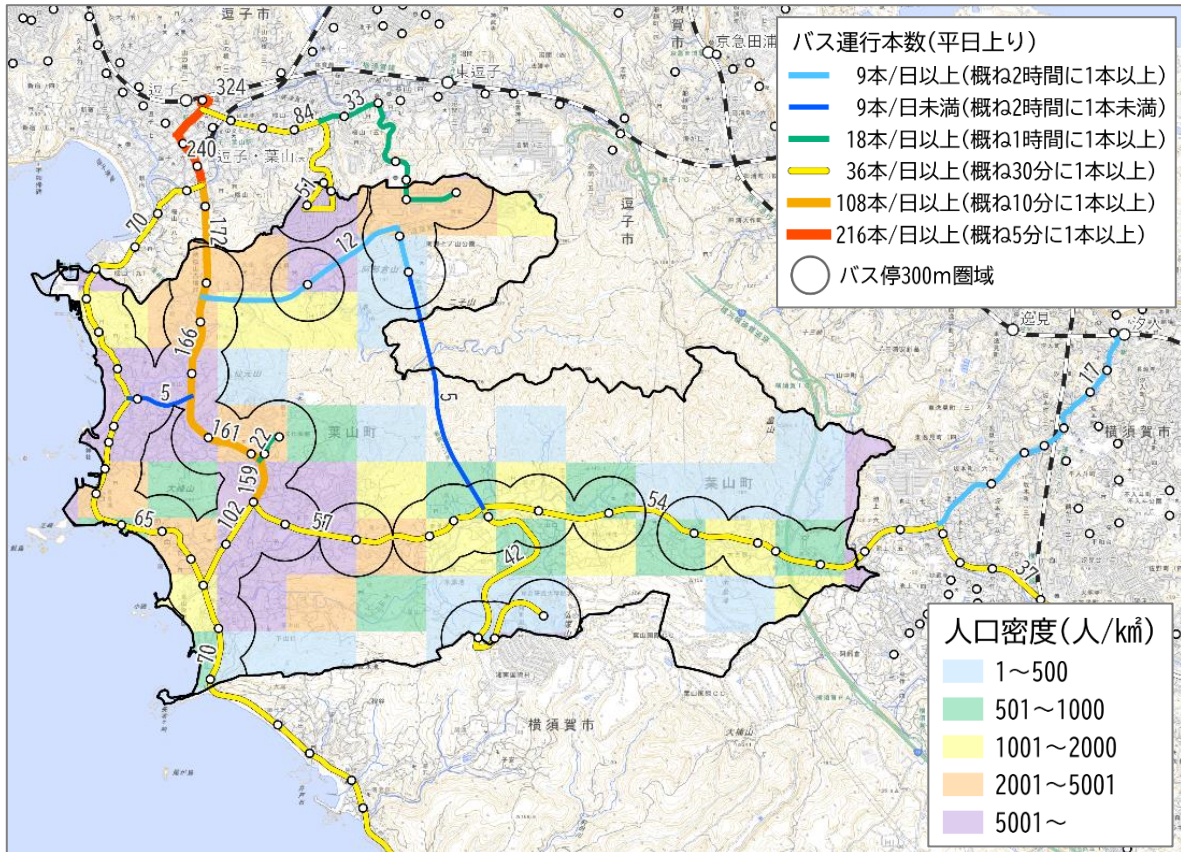
■運転免許証の所持率



葉山町の公共交通に関するアンケート（2022 年度実施）より

(5) 人口密度とバス運行状況

町内の人口密度は北部の葉桜団地と、中心部の一色地域の一部で高いことが分かります。それぞれ逗子駅方面への多くのバスが運行されていますが、葉桜団地とその隣のイトーピア葉山団地から町内へのバス運行はない状況となっています。また、人口密度が一定程度高くても、バスの運行本数が少ない地域も一部で見られます。



(6) 町内トリップ状況

町内のトリップ（移動）状況は、比較的各地域内での移動が多くなっており、他地域への移動としては下山口一色地域への移動が多く見られます。

■町内から町内への移動状況

		着					合計
		堀内	下山口・一色	上山口・木古庭	長柄	その他	
発	堀内	6,790	1,211	389	815	261	9,466
	下山口・一色	1,258	2,399	873	507	271	5,308
	上山口・木古庭	389	951	622	未集計	99	2,061
	長柄	662	558	95	2,619	524	4,458
	その他	374	158	99	524	未集計	1,155
	合計	9,473	5,277	2,078	4,465	1,155	22,448

		着					合計
		堀内	下山口・一色	上山口・木古庭	長柄	その他	
発	堀内	30.2%	5.4%	1.7%	3.6%	1.2%	42.2%
	下山口・一色	5.6%	10.7%	3.9%	2.3%	1.2%	23.6%
	上山口・木古庭	1.7%	4.2%	2.8%	未集計	0.4%	9.2%
	長柄	2.9%	2.5%	0.4%	11.7%	2.3%	19.9%
	その他	1.7%	0.7%	0.4%	2.3%	未集計	5.1%
	合計	42.2%	23.5%	9.3%	19.9%	5.1%	100.0%

2018年東京都市圏パーソントリップ調査より



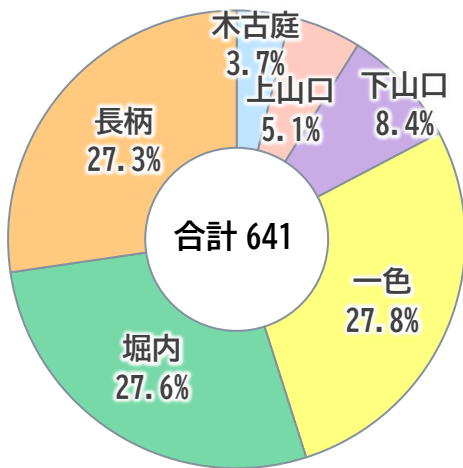
2 葉山町の公共交通に関するアンケート調査結果

実施期間：2022年12月2日（金）～12月26日（月）
 送付数：1,200人（字ごとの人口比率に基づき18歳以上の者を無作為抽出）
 回答数：641人（回答率53.4%）
 実施方式：郵送又はWebフォームによる回答

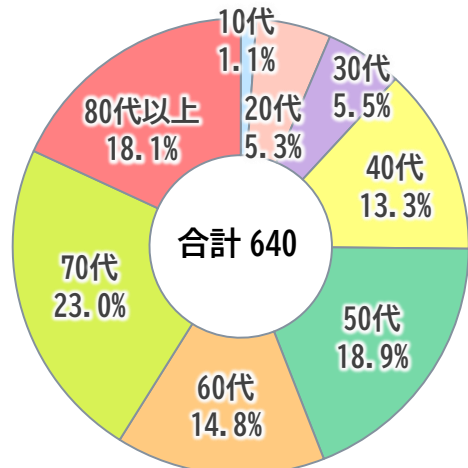
(1) 回答者の居住地と年代

アンケート回答者の居住地と年代については、次のとおりでした。

■回答者の居住地



■回答者の年代



■木古庭 ■上山口 ■下山口
 ■一色 ■堀内 ■長柄

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
 ■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上

回答者の居住地	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
件数	24	33	54	178	177	175	641
構成比	3.7%	5.1%	8.4%	27.8%	27.6%	27.3%	100.0%
送付構成比	4.2%	5.3%	8.8%	28.3%	26.1%	27.4%	100.0%

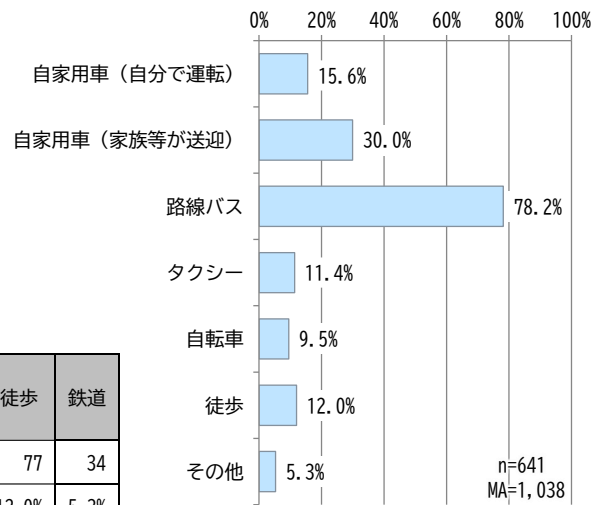
回答者の年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
件数	7	34	35	85	121	95	147	116	640
構成比	1.1%	5.3%	5.5%	13.3%	18.9%	14.8%	23.0%	18.1%	100.0%
送付構成比	2.0%	6.5%	7.8%	17.2%	20.2%	14.5%	16.8%	15.1%	100.0%

(2) 駅までの交通手段（複数回答可）

■駅までの交通手段

駅までの交通手段を尋ねたところ、回答者 641 人のうち 78.2% (501 件) が路線バスを利用しているという回答でした。また、45.6% (292 件) が自家用車を利用している（「自分で運転」・「家族等が送迎」の合計）という回答でした。

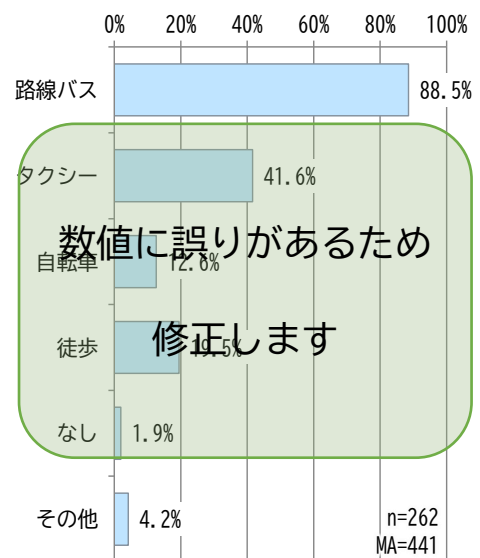
	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族等が送迎)	路線バス	タクシー	自転車	徒歩	鉄道
件数	100	192	501	73	61	77	34
回答割合	15.6%	30.0%	78.2%	11.4%	9.5%	12.0%	5.3%



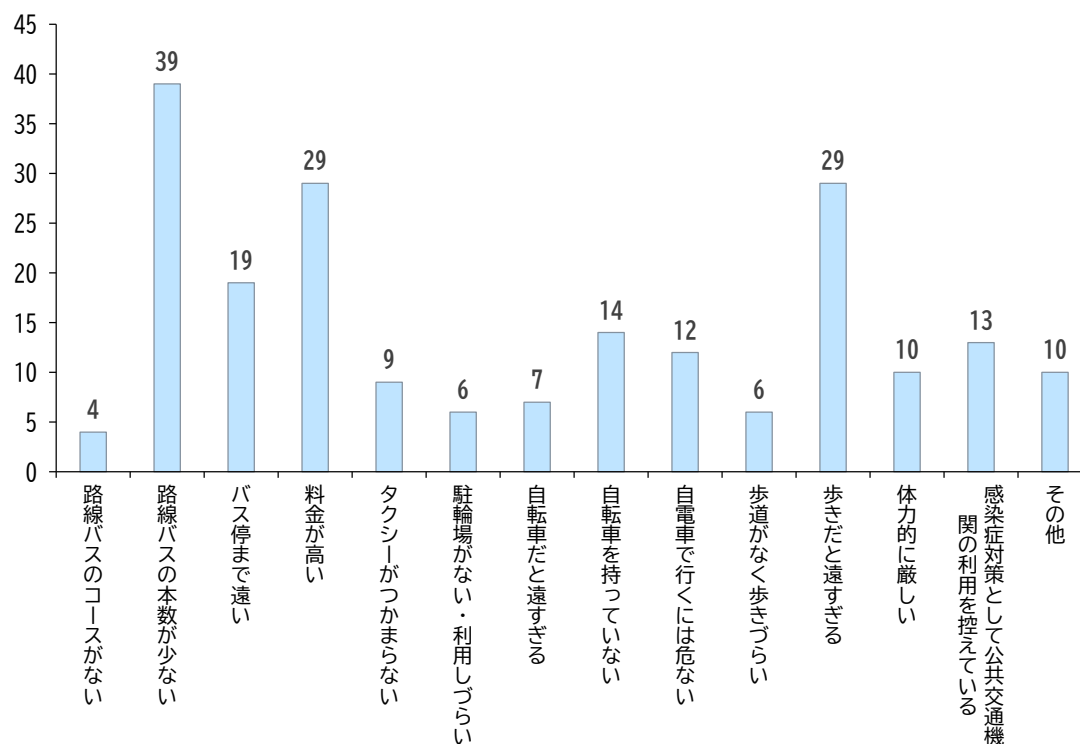
(3) 駅までの自家用車以外の交通手段とその交通手段を利用しない理由

駅までの交通手段として自家用車を主に利用する人へ、自家用車以外の交通手段が利用できるか尋ねたところ、回答者 292 人のうち 98.6% (288 件) が路線バスを利用できるという回答でした。

	路線バス	タクシー	自転車	徒歩	なし	その他
件数	288	128	40	62	8	0
回答割合	98.6%	43.8%	13.7%	21.2%	2.7%	0.0%



自家用車以外の交通手段があるにもかかわらず利用しない理由では、路線バスの本数が少ない、バス停まで遠い、料金が高いという回答が多い結果でした。



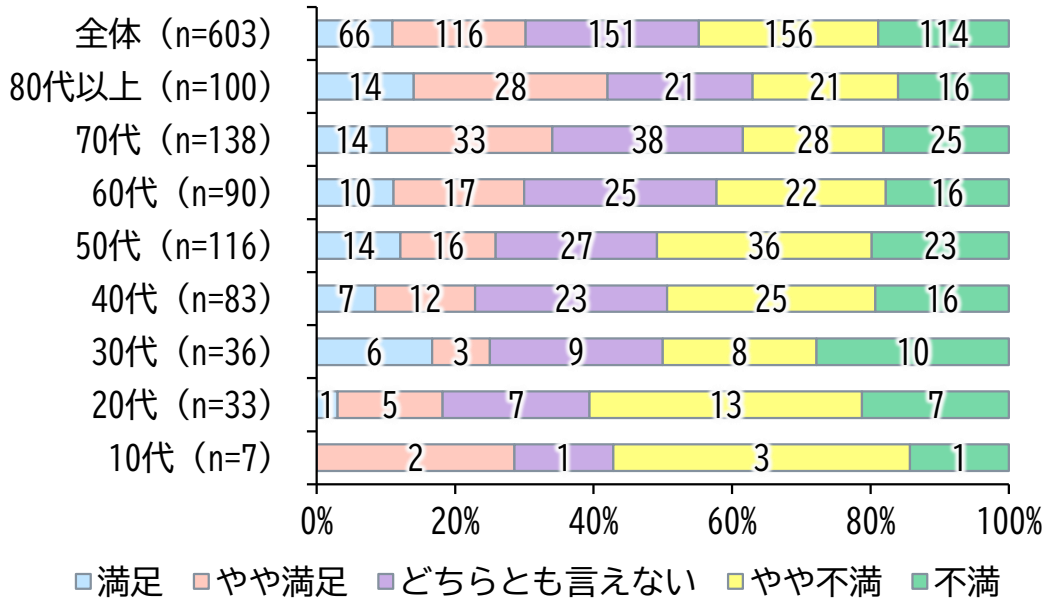
(4) 移動目的別の交通手段（複数回答可）

移動目的別の交通手段では、いずれの移動目的においても自家用車が最も多いものの、自家用車を除くと、買い物は徒歩、通院・趣味活動等は路線バスによる移動が多いという結果でした。

	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族等が送迎)	路線バス	タクシー	自転車	徒歩	鉄道	その他
買い物	336	146	129	18	50	238	23	0
通院	259	119	181	30	34	145	61	1
趣味活動等	287	140	188	33	41	155	106	0

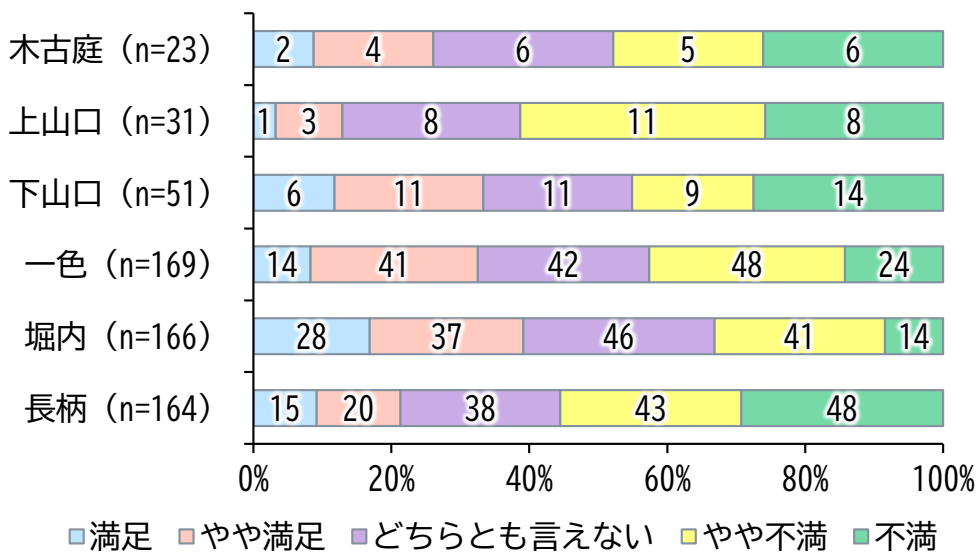
(5) 葉山町の公共交通に対する満足度（年代別、居住地域別、バス停までの所要時間別）
 葉山町の公共交通に対する満足度を年代別に見ると、全体的に不満、やや不満と回答した人の割合が高く、年代が高くなるにつれてその割合が低くなるという結果でした。

■年代別の公共交通に対する満足度



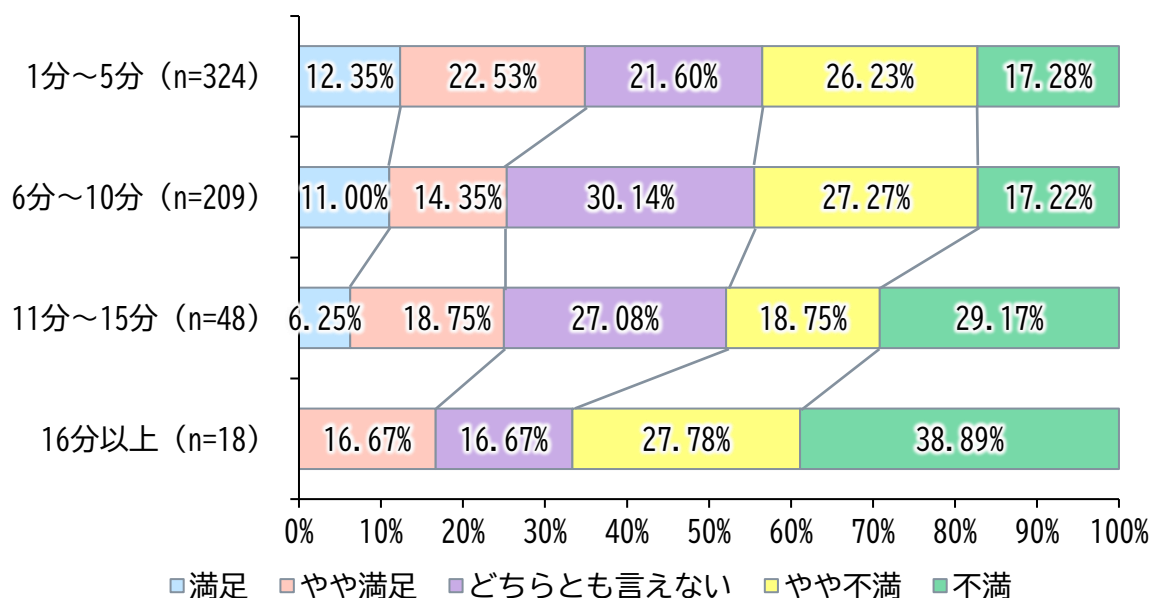
また、居住地域別の満足度では、長柄地域と上山口地域は、不満、やや不満と回答した人の割合が 50%を超えている一方で、堀内地域は満足、やや満足と回答した人の割合が不満、やや不満と回答した人よりも高い結果でした。

■居住地域別の公共交通に対する満足度



自宅からバス停までの所要時間別での満足度を見ると、バス停までの所要時間が1～5分であっても、不満、やや不満の回答割合は30%を超える結果でした。不満、やや不満の回答割合は1～5分と6～10分で大差はないものの、6～10分とそれ以上では、不満、やや不満の回答割合が増えていくという結果でした。

■バス停までの所要時間別の満足度



不満、やや不満と回答した人にその理由を尋ねたところ、次のような意見がありました。路線バスに関する意見のほか、高台にある家の近くまでの交通手段や、行政サービスに関する意見も見られました。

主な意見

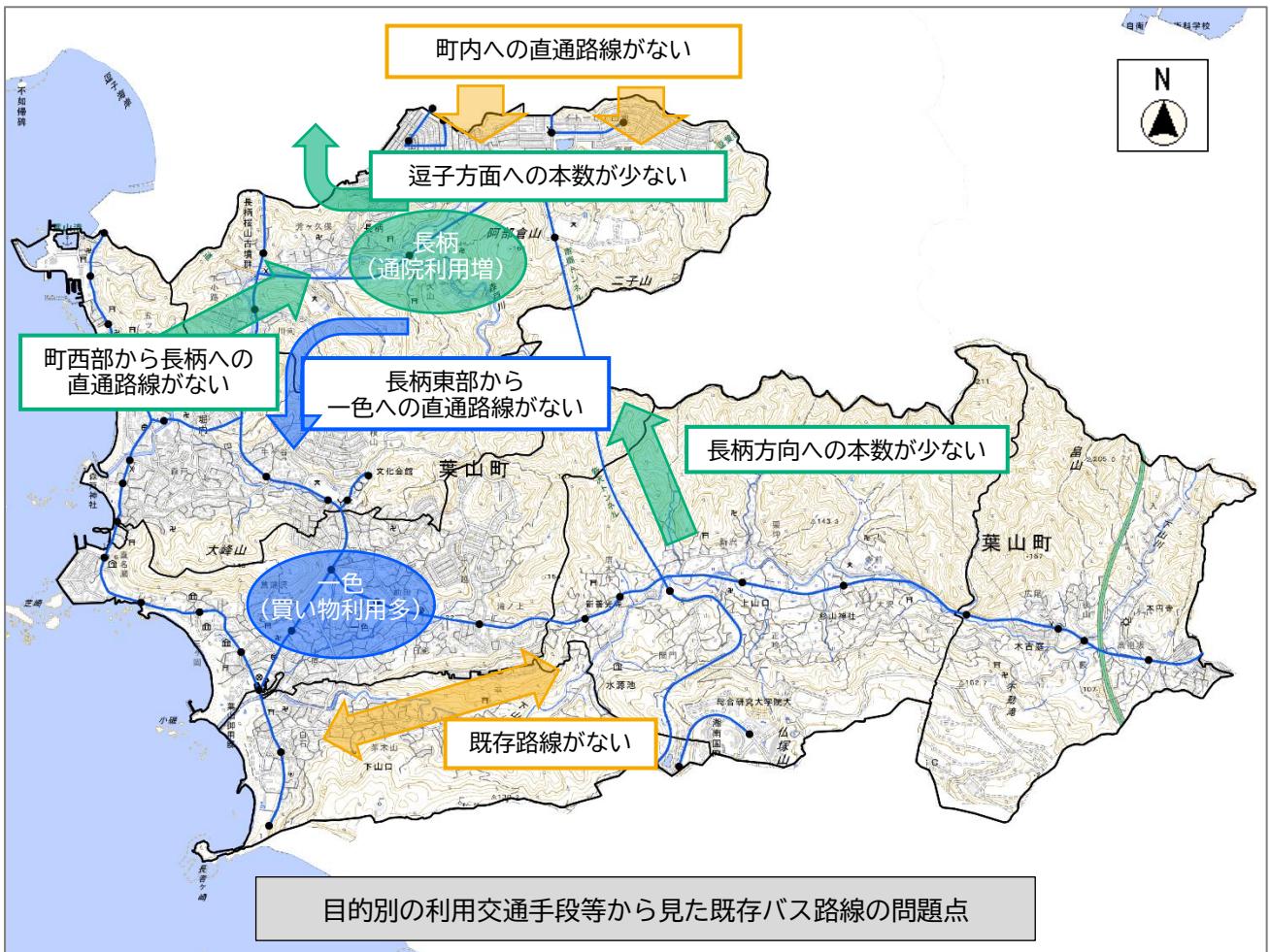
- ・路線のバスの本数が少ない。料金が高い。
- ・バスは雨が降ると混んで遅く、満員で乗れない時がある。
- ・逗子駅方面へはバスがありますが町内へは移動手段がない為。
- ・京急バス以外の公共交通はなく課金制なので少し遠くへ出かける場合の交通費がかかりすぎる。町営の公共交通がないので京急バスの優遇措置を厚くしてほしい。自家用車のない家庭や運転をやめた高齢者は外出に困る。
- ・急坂を登った住宅街(一色台)に住んでいるが、上までバスが来ないため、バスを利用するには急坂の登り降りが必要になる。歳を重ねればかなり辛くなる。
- ・バス停が遠い。
- ・行政のサービスが少ない。
- ・自宅からバス停が近いので、電車に乗る際にはできればバスを利用したいですが、本数が少なく、道路渋滞で遅延が多く逗子着の時間が読めない為に結局かなり早めのバスに乗る事になり、とても不便に感じます。また、ゴールデンウィークから夏休み期間はバス車内の混雑がひどく、乗る気になれません。
- ・バスをたまに利用する時、時間通りにこない。雨の日は特に徒歩以外で逗子駅までの時間が読めないのが困る。

など

第5章 地域公共交通における課題

1 町内バスネットワークに関する課題

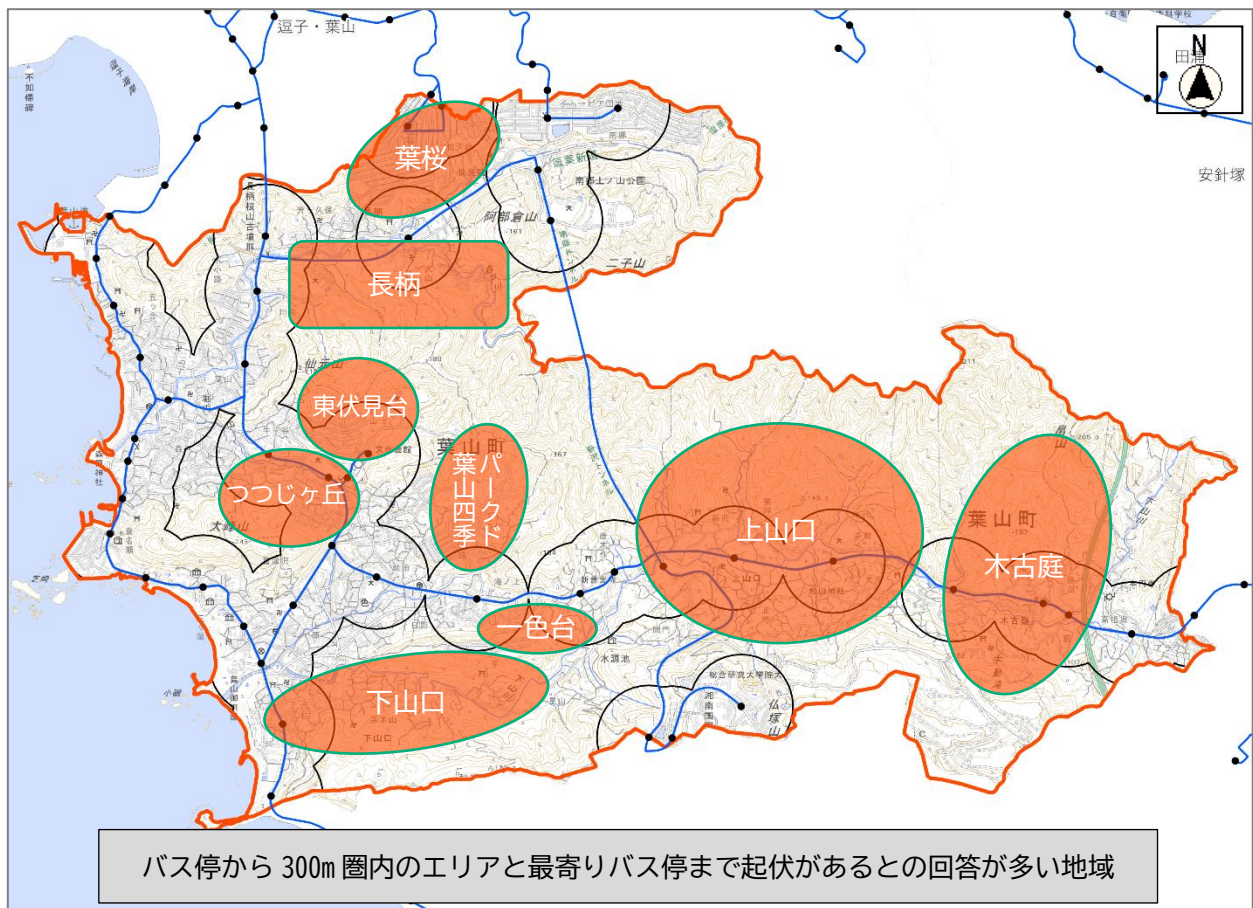
町内を通る路線バスの多くは JR 逗子駅を起点とした路線となっており、町内を循環する路線はなく、町内で最も人口密度の高い葉桜・イトーピア地域は、町中心部への直通路線はありません。近年宅地開発が進む長柄の県道 311 号線沿いは、町中心部への直通路線がないほか、JR 逗子駅方面への運行本数も少ない状況です。下山口の幹線道路以外の地域は、路線バスの運行がありません。これらの地域においては、路線バスによる町内へのアクセスが課題となっています。



2 地域コミュニティにおける移動に関する課題

自家用車で移動が多い本町において、運転免許証を持っていない人は公共交通による移動が中心となりますが、路線バスとタクシー以外の公共交通機関がないほか、バス停までの移動手段は徒歩・自転車に限られます。

一方で、本町は幹線道路からやや離れた高台の上に造成された住宅団地が多く、地域の活動や買い物など、日常生活に必要な地域内の移動においても移動手段が少ない状況が課題となっています。



3 通勤・通学時間帯の渋滞に関する課題

町内での渋滞は、通勤・通学時間帯の逗子駅方面に向かう道路での渋滞が多く、特に雨の日は激しい渋滞が見られます。この渋滞は自家用車による駅までの送迎が一つの要因と考えられ、路線バスの定時運行、円滑なタクシーの利用にあたっての課題となっています。



2021年度全国道路・街路交通情勢調査より

4 観光交通に関する課題

現在、観光客・来町者の町内での移動手段は、自家用車のほか、公共交通機関では路線バスとタクシーに限られます。夏場などの観光シーズンや土日祝日は、自家用車による渋滞が顕著となっており、スムーズな観光周遊への課題があります。

5 環境への影響に関する課題

環境省の調査によると、2021年度における二酸化炭素排出量のうち、自動車等の運輸部門から排出される割合は全国平均で19%ですが、葉山町においてはこの割合が34%と非常に高くなっており、交通部門における脱炭素化が課題となっています。本町では、全町が一丸となって環境問題への対策に取り組むとともに、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すため、2021年3月に「はやま気候非常事態宣言」を表明しました。



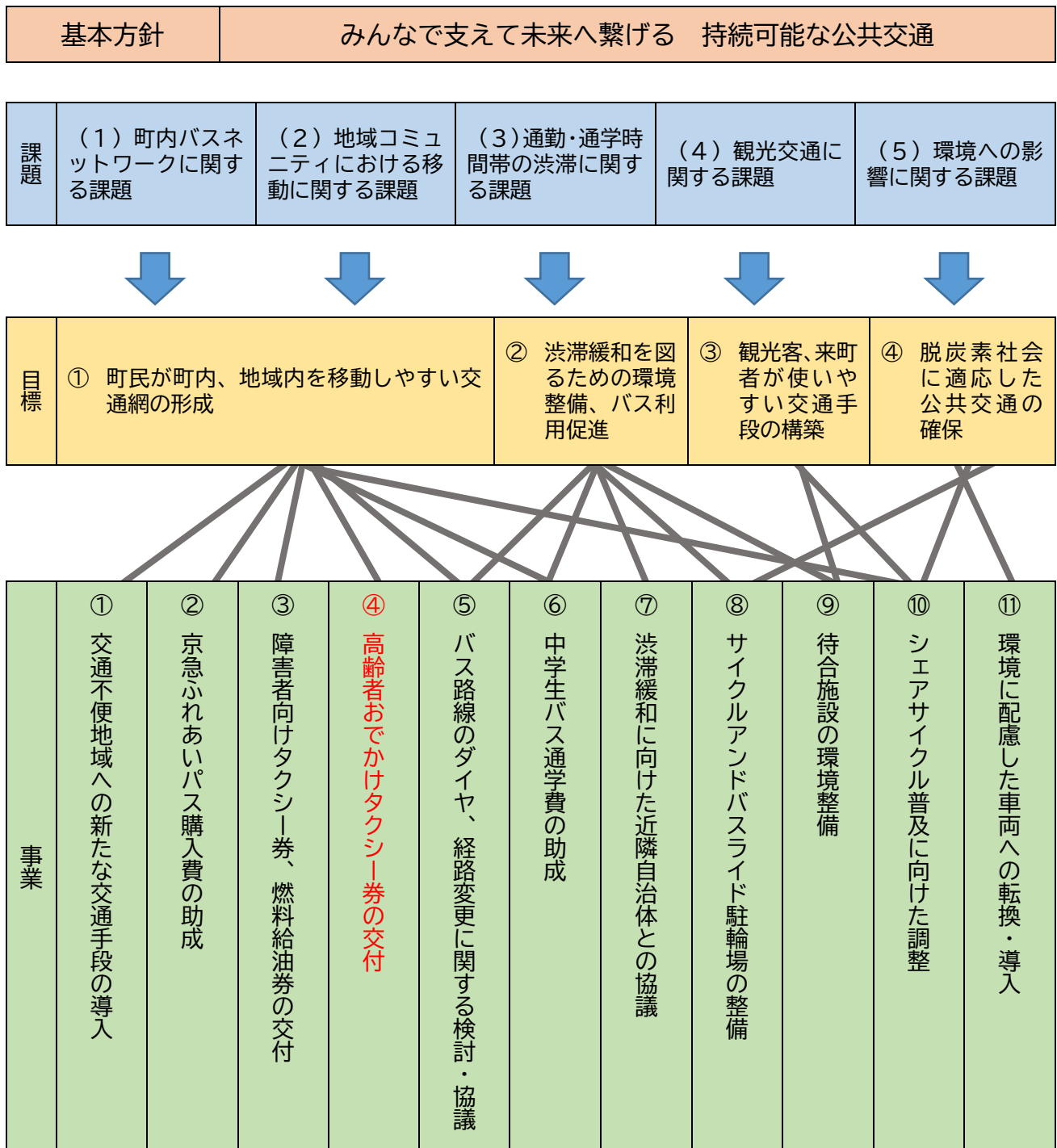
図 はやま気候非常事態宣言

第6章 基本方針と計画目標

1 基本方針と計画目標の設定

本計画は冒頭の「計画の目的」に記載したとおり、先行きの見通せない時代にあっても地域に関わる全ての人で公共交通を支え、交通に関わる全ての事項を網羅し、未来にわたって持続可能な交通の仕組みを構築するために策定するものです。

このことから、基本方針を「**みんなで支えて未来へ繋げる 持続可能な公共交通**」と設定するとともに、本町の地域公共交通に関する課題解決を図るため、次のとおり4つの計画目標を定めます。



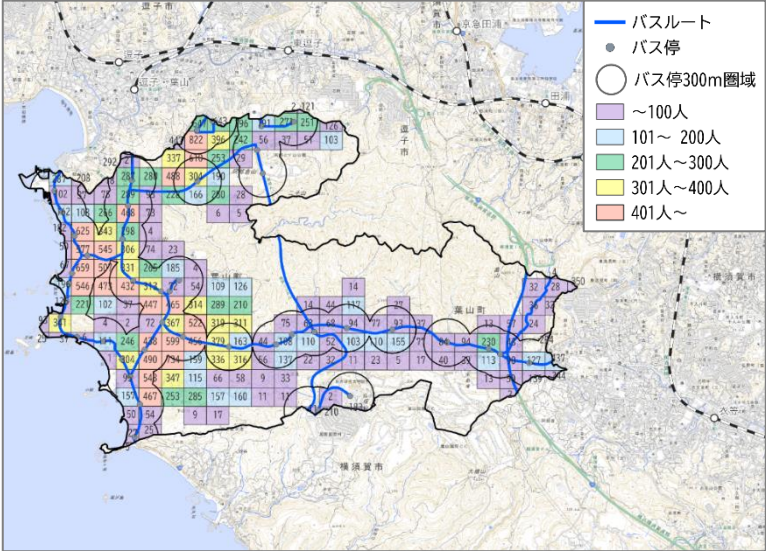
第7章 基本目標を達成するための事業と評価指標等

1 事業実施の考え方

本計画における事業実施に係る基本的な考え方については、持続可能な公共交通の構築に向け、4つの計画目標に基づき事業の実施・検討を進めつつ、人口減少等の社会構造の変化や社会情勢、財政状況等を鑑みながら、柔軟に対応していくこととします。

2 事業の詳細と目標値

本町の公共交通の課題解決のために実施する事業及び目標値は次のとおりです。なお、人口減少等の理由により目標設定がしづらい事業については、事業の進行管理に活用すべく、目標値を設定しないモニタリング指標とします。

事業 ①	交通不便地域への新たな交通手段の導入		
解決を図る課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内バスネットワークに関する課題 ・地域コミュニティにおける移動に関する課題 		
内 容	<p>事業者や地域住民とともに地域の実情に合う交通手段の検討・導入を行い、交通不便地域に住む人の移動を支えるとともに、移動利便性の向上と外出促進を図ります。</p>		
	 <p style="text-align: center;">図 町内のバス停 300m 圏域</p>		
評価指標	新たな交通手段の運行地域		
2023 年度末 実績値	-	2032 年度 目標値	2 か所

事業 ②	京急ふれあいパス購入費の助成		
解決を図る課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティにおける移動に関する課題 		

内 容	京急ふれあいパス購入費の助成を行い、高齢者の外出促進、移動利便性の向上を図ります。		
			
評 価 指 標	京急ふれあいパス購入費の助成件数（モニタリング指標）		
2023 年度末 実績値	1,645 件	2032 年度 目標値	-

図 京浜急行バス


事 業 ③	障害者向けタクシー券・燃料給油券の交付		
解決を図る課題	・地域コミュニティにおける移動に関する課題		
内 容	障害者へのタクシー券又は燃料給油券の交付を行い、障害者の外出促進、社会参加の増加を図ります。		
			
評 価 指 標	交付件数に対する利用率		
2023 年度末 実績値	70.0%	2032 年度 目標値	75.0%

図 障害者タクシー券、燃料給油券


事 業 ④	高齢者おでかけタクシー券の交付		
解決を図る課題	・地域コミュニティにおける移動に関する課題		





内 容	高齢者の外出機会の増加を図るため、満75歳から満79歳で運転免許証をお持ちでない方、または満80歳以上の方へ、高齢者おでかけタクシー券の交付をします。		
評価指標	調整中	追加	
2023年度末実績値	-	2032年度目標値	

事業 ⑤	バス路線のダイヤ、経路変更に関する検討・協議		
解決を図る課題	・町内バスネットワークに関する課題		
内 容	<p>人口増減や分布、町が実施したアンケート結果のほか、事業者が保有するバスの乗降状況等に応じて、運行ダイヤ、経路変更の検討・協議を行い、バス利用者の増加と利便向上を図ります。</p>  <p>バス運行本数(平日上り) ■ 9本/日未満(概ね2時間に1本未満) ■ 9本/日以上(概ね2時間に1本以上) ■ 18本/日以上(概ね1時間に1本以上) ■ 36本/日以上(概ね30分に1本以上) ■ 108本/日以上(概ね10分に1本以上) ■ 216本/日以上(概ね5分に1本以上)</p> <p>図 町内のバス運行本数(2024年7月現在)</p>		
評価指標	事業者との協議回数		
2023年度末実績値	0回/年	2032年度目標値	1回/年


事業 ⑥	中学生バス通学費の助成		
解決を図る課題	・通勤・通学時間帯の渋滞に関する課題		
内 容	町立中学校に通う生徒の保護者に対して通学定期券購入費の助成を行い、通学費用負担の軽減と、送迎により発生する渋滞の軽減を図ります。		
評価指標	通学費の助成件数(モニタリング指標)		
2023年度末実績値	63件	2032年度目標値	-

事業 ⑦	渋滞緩和に向けた関係機関との協議		
解決を図る課題	・通勤・通学時間帯の渋滞に関する課題		
内 容	関係機関との協議・方策の検討を行い、主に平日朝の時間帯を中心とする国県道の渋滞緩和を図ります。		
			
	図 長柄交差点付近の渋滞		
評価指標	関係機関との協議回数		
2023年度末 実績値	0回/年	2032年度 目標値	1回/年

事業 ⑧	サイクルアンドバスライド駐輪場の整備		
解決を図る課題	・通勤・通学時間帯の渋滞に関する課題		
内 容	自転車からバスに乗り継ぐための駐輪場を整備し、バス停から離れたところに住む町民のバス利用の増加、自家用車での送迎により発生する渋滞軽減を図ります。		
			
	図 サイクルアンドバスライド事例（中井町）		
評価指標	サイクルアンドバスライド駐輪場の設置数		
2023年度末 実績値	0か所	2032年度 目標値	2か所

事業 ⑨	待合施設の環境整備		
解決を図る課題	・観光交通に関する課題		
内 容	バス停上屋、バス接近表示器の設置により、ストレスなくバスを利用できる環境の構築を図ります。		
			
	<p>図 旧役場前バス停上屋</p>	<p>図 葉山小学校バス停上屋</p>	
			
<p>図 バス接近表示器付きバス停 (旧役場前バス停)</p>	<p>図 バス接近表示器 (葉山小学校バス停)</p>		
評価指標	バス停上屋の数		
2023年度末 実績値	19 箇所	2032年度 目標値	22 箇所

事業 ⑩	シェアサイクル普及に向けた調整		
解決を図る課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティにおける移動に関する課題 ・観光交通に関する課題 ・環境への影響に関する課題 		
内 容	シェアサイクルのステーション（貸出・返却場所）設置場所の検討、事業者との調整等を行い、路線バス、タクシーの混雑緩和と環境負荷の軽減を図ります。		

			
	図 シェアサイクルステーション（葉山町役場）		
評価指標	シェアサイクルステーションの数		
2023年度末実績値	5か所	2032年度目標値	20か所

事業 ⑪	環境に配慮した車両への転換、導入		
解決を図る課題	・環境への影響に関する課題		
内 容	はやま気候非常事態宣言に基づき、町内での二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すため、環境に配慮した車両（電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車）の導入・転換を進めます。		
			
	図 大型電気バス（京浜急行バス）		
評価指標	環境に配慮した車両の保有台数 （京浜急行バス逗子営業所及び JR 逗子駅構内タクシー組合4社）		
2023年度末実績値	●●台	2032年度目標値	●●台

後日、京急バス及び JR 逗子駅構内タクシー組合へ照会させていただきます。

3 住民アンケートによる評価

事業実施により住民の利便が向上されているかを評価するため、次のとおり評価指標と目標値を設定します。

評価指標	公共交通に対する満足度の「不満」、「やや不満」の回答割合		
2023年度末実績値	44.7%	2032年度目標値	40.0%

4 事業の関係機関等と実施予定時期

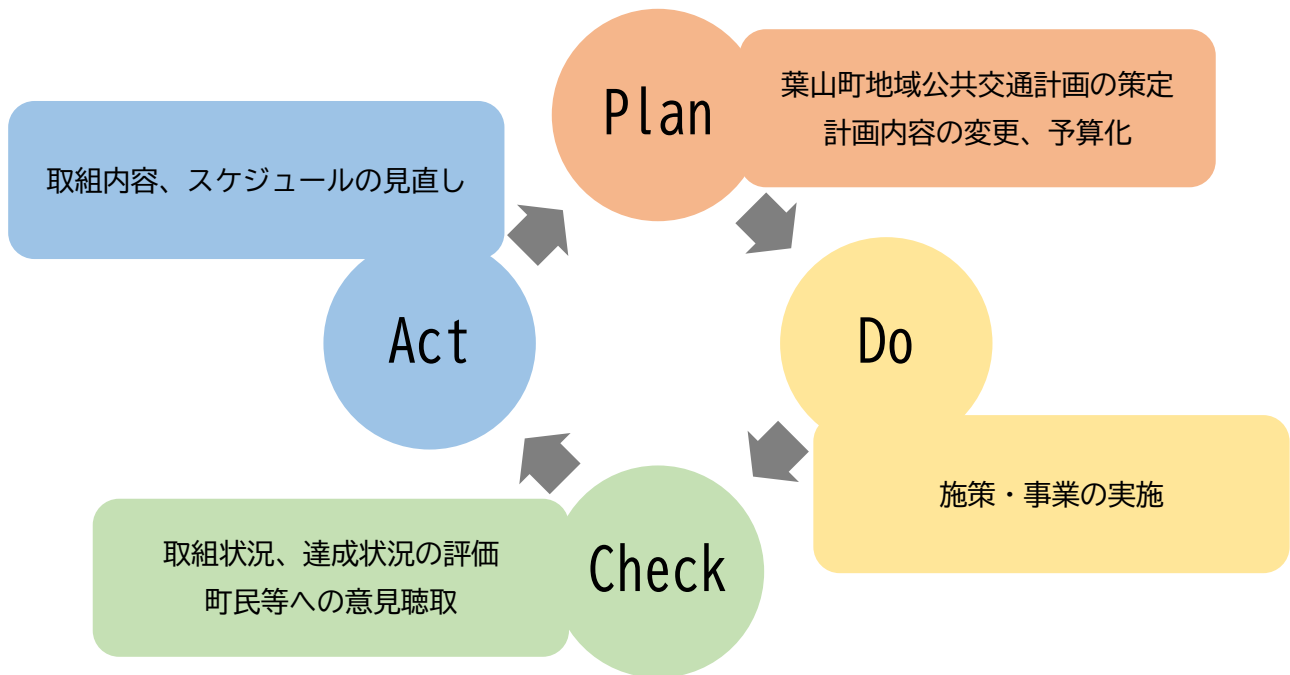
事業実施にあたり、関係する機関等と実施予定時期は次のとおりです。

事業	関係機関等				継続 (すでに実施しており引き続き実施する)	実施予定時期	
	葉山町	他国・県・自治体	事業者	地域団体等		短期 (おおむね3年以内に着手する)	長期 (関係機関等と調整のうえ着手する)
① 交通不便地域への新たな交通手段の導入			●	●			長期
② 京急ふれあいバス購入費の助成					継続		
③ 障害者向けタクシー券、燃料給油券の交付					継続		
④ 高齢者おでかけタクシー券の交付					継続		
⑤ バス路線のダイヤ、経路変更に関する協議				●		短期	
⑥ 中学生バス通学費の助成					継続		
⑦ 渋滞緩和に向けた関係機関との協議			●			短期	
⑧ サイクルアンドバスライド駐輪場の整備			●	●			長期
⑨ 待合施設の環境整備			●	●			長期
⑩ シェアサイクル普及に向けた調整			●	●	継続		
⑪ 環境に配慮した車両への転換、導入				●			長期

第8章 計画の実現に向けて

1 計画の進行管理・達成状況の評価

本計画の進行管理は、計画（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Act）のPDCAサイクルを基本として実施します。目標の達成状況の確認については、指標値が入手できるものについては指標を基に評価を行い、それ以外のものについては、町民等の意見を取り入れながら、必要に応じて取組内容やスケジュールの見直しを行い、改善を図ります。



2 実施体制

本計画の実施にあたっては、住民、事業者、行政それぞれが相互に理解し、連携をして施策に取り組むことが必要不可欠となります。ここでは、それぞれに求められる役割について整理して記載します。

(1) 住民

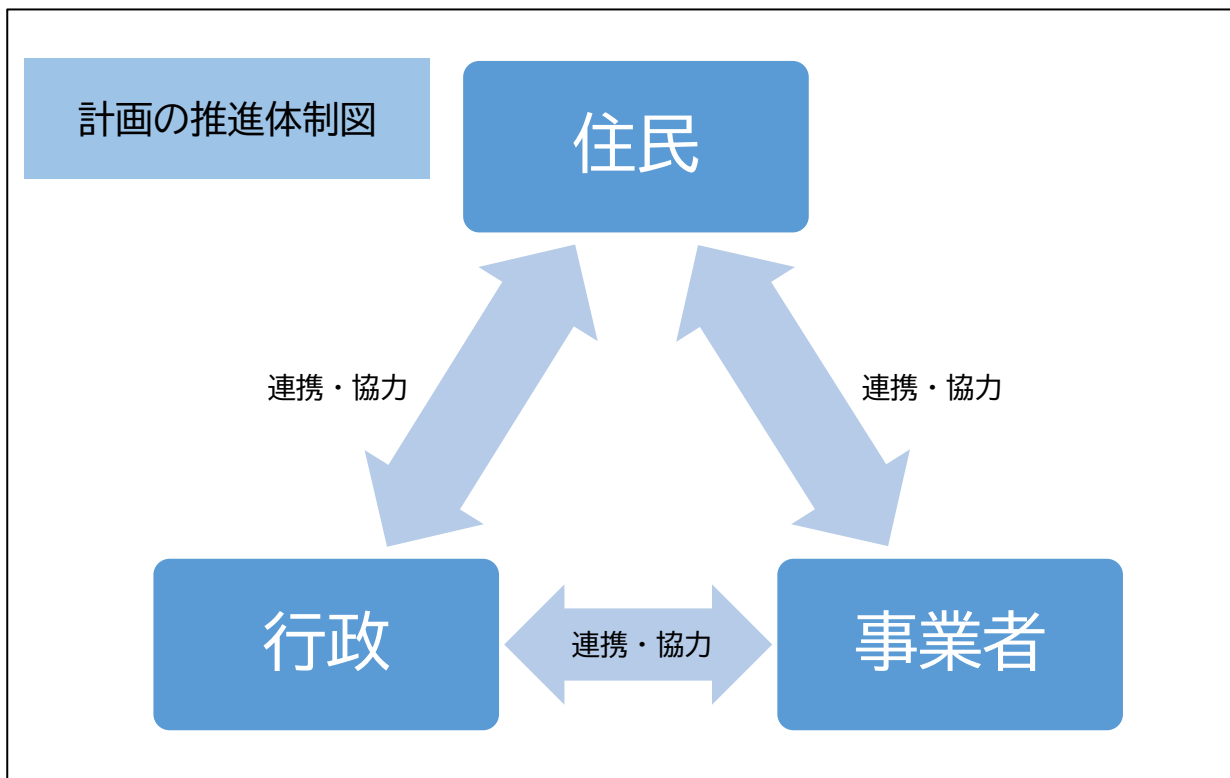
積極的に公共交通を利用し事業者を支えるとともに、持続可能な公共交通について自分事として捉え、交通情勢の変化に対して柔軟に対応する姿勢が求められます。

(2) 事業者

引き続き安全・安心な運行サービスの提供に努め、利用者満足度が向上する取組を行います。また、持続可能な公共交通の実現のため、人員の確保や先進技術等を活用した取組みの研究に積極的に取り組む姿勢が求められます。

(3) 行政

本計画が着実に推進されるよう、住民、事業者その他関係者との調整のほか、取組みの情報発信など、計画を総合的に管理する役割が求められます。行政内部においては交通施策所管課のみが施策を進めるのではなく、福祉、教育、都市計画など様々な所管課と横断的に協力、連携を図り、施策を進める必要があります。



資料編

1 葉山町地域公共交通会議

(1) 葉山町地域公共交通会議規則

(趣旨)

第1条 この規則は、葉山町附属機関の設置に関する条例（平成7年葉山町条例第13号）第2条の規定に基づき設置された葉山町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）の組織、所掌事務、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 交通会議は、地域公共交通のあり方、地域の住民に必要な旅客輸送の確保及び地域公共交通計画に関する事項を協議し、その結果を報告し、又は意見を建議するものとする。

(委員)

第3条 交通会議の委員は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第2項並びに道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号）第9条の3第1項及び第2項に規定するところにより、町長が委嘱し、又は任命する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第4条 交通会議に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、交通会議を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 交通会議の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 交通会議の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 交通会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見等の聴取)

第6条 交通会議は、その所管事務について必要があると認められるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(秘密の保持)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。委員の職を退いた後においてもまた同様とする。

(庶務)

第8条 交通会議の庶務は、政策課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、交通会議の運営に関し必要な事項は、会長が交通会議に諮って定める。

附 則

この規則は 令和3年4月1日から施行する。

(2) 委員名簿

	氏名	所属等	備考
1	長塚 隆介	京浜急行バス株式会社事業統括部 業務統括課長	一般乗合旅客自動車運送事業者
2	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会常 務理事	一般乗合旅客自動車運送事業者の組織する団 体
3	菊池 尚	一般社団法人神奈川県タクシー協 会副会長	その他の一般旅客自動車運送事業者及びその 組織する団体
4	津吉 彰郎	葉山町町内会連合会長	住民又は旅客 (前任：守谷壽浩 2022.1.17～2022.12.26 加藤清 2022.12.26～2024.5.19)
5	森下 文章	国土交通省関東運輸局神奈川運輸 支局首席運輸企画専門官	地方運輸局長 (前任：三橋裕 2022.1.17～2023.3.31 平田伸一 2023.4.1～2024.3.31)
6	池田 洋樹	神奈川県交通運輸産業労働組合協 議会	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の 運転者が組織する団体 (前任：佐藤忍 2022.1.17～2022.12.26)
7	野地 昭弘	横須賀土木事務所工務部道路維持 課長	道路管理者 (前任：宮島直人 2022.1.17～2024.3.31)
8	山梨 崇仁	葉山町長	市町村長
9	雨宮 健治	葉山町都市経済部長	道路管理者 (前任：太田圭一 2022.1.17～2024.3.31)
10	原 友幸	葉山警察署交通課長	都道府県警察 (前任：河野正稔 2022.1.17～2023.3.29 中井敬介 2023.3.30～2024.3.10)
11	苦瀬 博仁	東京海洋大学名誉教授	学識経験を有する者
12	大門 創	國學院大學准教授	学識経験を有する者
13	清水 弘子	認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネッ トワーク理事長・地域公共交通マイスター	その他の地域公共交通会議の運営上必要と認 められる者
14	中野 徹	葉山町社会福祉協議会事務局長	その他の地域公共交通会議の運営上必要と認 められる者 (前任：加藤智史 2022.1.17～2023.3.31)
15	中津川 宗尉	神奈川県交通企画課副課長	その他の地域公共交通会議の運営上必要と認 められる者 (前任：最上祐紀 2023.8.29～2024.3.31)

(3) 開催概要

開催日	概要
2022年 1月17日(月)	● ワクチン接種送迎バスの運行に係る既存バス停の使用について 等
2022年 3月11日(金)	● 町の公共交通の現状について 等
2022年 12月27日(火)	● 葉山町地域公共交通計画の構成案について 等
2023年 3月30日(木)	● 葉山町の公共交通に関するアンケート結果について 等
2023年 8月29日(火)	● 葉山町地域公共交通計画の内容検討について
2023年 11月24日(金)	● 葉山町地域公共交通計画の内容検討について
2024年 3月 5日(火)	● 葉山町地域公共交通計画の内容検討について
2024年 5月23日(木)	●
2024年 8月21日(水)	●
2024年 月 日()	●

2 葉山町の公共交通に関するアンケート

葉山町の公共交通に関するアンケート

日頃より町政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
 葉山町の公共交通は、鉄道がなくバス・タクシーに限られています。移動手段のない方にとってバス・タクシーは生活に欠かせない交通手段ですが、その一方でバス路線から離れた地域もあります。また、本町の人口は高齢化率が高く、地形的に丘陵地帯が多いことから、高齢化の更なる進展に伴う日常生活上の移動に関する課題は、今後さらに重要になっていくと考えられます。そこで、町ではこのような課題解決に向け、今後の本町の公共交通のあり方について検討を始めています。

つきましては、町民の皆さまの日常生活における移動の実態や公共交通の利用状況、ご意見・ご要望などを伺い、今後の施策に反映するためアンケート調査を行うことにいたしました。お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

葉山町政策財政部政策課

回答（投函）期日 令和4年12月26日（月）

宛名のご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合はご家族の方などがお答えください。

郵送の場合は同封の返信用封筒に封入の上、ご送付ください。（切手は不要です。）

Webでの回答は下記のURLもしくは右記の二次元コードよりHPにアクセスし、ご回答ください。

<https://www.town.hayama.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/114>

このアンケートは18歳以上の葉山町民から無作為に選ばれた1200名の方にお送りしています。



1. 回答者について

該当する口にチェック✓してください。

問1-1 あなたの性別を教えてください。（一つのみ回答）

男性 女性 その他 回答しない

問1-2 あなたの住んでいる字・地域を教えてください。（一つのみ回答）

木古庭 上山口 下山口 一色 堀内 長柄

問1-3 あなたの年齢を教えてください。（一つのみ回答）

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

問1-4 あなたのお住いの地域の町内会・自治会を教えてください。

（加入・未加入問わず）（一つのみ回答）

木古庭 上山口 下山口 葉山一色台 パーク葉山四季 一色第1 一色第2 一色第3 一色第4
 一色第5 葉山エコー会 芝崎 つつじヶ丘 東伏見 牛ヶ谷戸 向原 真名瀬 森戸
 元町たかさご 木の下 あずま ミヶ浦 諏訪町 鑓摺 長柄下 長柄 葉桜 イトーピア葉山 不明

問1-5 自家用車を持っていますか。（一つのみ回答）

自分専用車を持っている 家族共用車を持っている 持っていない

問1-6 自動車運転免許証を持っていますか。（一つのみ回答）

持っている 持っていない 持っていたが返納した

問1-7 （問1-6で「持っている」と回答した人のお答えください）

将来、運転免許の返納を考えていますか。（一つのみ回答）

近いうちに返納予定 時期は未定だが返納予定 返納を考えていない わからない

2. 路線バスに関するアンケート

問2-1 自宅の最寄りのバス停を教えてください。(複数回答可)

- 鍛摺 葉山マリーナ 清浄寺 元町 亀井戸橋 森戸海岸 森戸神社 真名瀬 芝崎
 三ヶ下海岸 三ヶ丘 一色海岸 葉山 長柄交差点 長柄橋 風早橋 向原 葉山小学校
 葉山町役場 葉山町福祉文化会館 葉山大道 旧役場前 葉山公園前 長者ヶ崎 一色小学校
 一色住宅 滝の坂 水源地入口 新沢 上山口小学校 境橋 木古庭 不動橋 大楠登山口
 才戸坂上 葉桜 イトーピア イトーピア中央公園 川久保 南郷中学校 南郷トンネル入口 黄金坂橋
 湘南国際村間沢調整池 湘南国際村つつじが丘 湘南国際村センター前

問2-2 自宅から最寄りのバス停まで徒歩でかかる時間を教えてください。(一つのみ回答)

- 1分~5分 6分~10分 11分~15分 16分以上

問2-3 自宅から最寄りのバス停までの道の状況を教えてください。(一つのみ回答)

- ほぼ平坦 坂道がある

問2-4 自宅から最寄りのバス停までの歩きやすさを教えてください。(一つのみ回答)

- 無理なく歩ける やや無理を感じている バス停まで歩けない

問2-5 バスの利用料金についてどう感じるか教えてください。(一つのみ回答)

- 適切である 安いと感じる 高いと感じる その他 ()

3. 鉄道に関するアンケート

問3-1 自宅から出かける際に主に利用する駅を教えてください。(複数回答可)

- JR逗子駅 JR東逗子駅 JR衣笠駅 京急逗子・葉山駅 京急汐入駅
 その他 () 駅

問3-2 問3-1で回答した駅へ行くときに主に利用する交通手段を教えてください。(複数回答可)

- 自家用車(自分で運転) 自家用車(家族等が送迎) 路線バス タクシー 自転車
 徒歩 その他 ()

問3-3 (問3-2で「自家用車(自分で運転)」「自家用車(家族等が送迎)」と回答した方にお聞きします。)自家用車以外で、駅へ行くときに利用できる交通手段があれば教えてください。(複数回答可)

- 路線バス タクシー 自転車 徒歩 なし その他 ()

問3-4 (問3-3で「なし」以外に回答した方にお聞きします。)問3-3で回答した交通手段を利用していない理由を教えてください。(複数回答可)

- 路線バスのコースがない 路線バスの本数が少ない バス停まで遠い 料金が高い
 タクシーがつかまらない 駐輪場がない・利用しづらい 自転車だと遠すぎる 自転車を持っていない
 自転車で行くには危ない 歩道がなく歩きづらい 歩きだと遠すぎる 体力的に厳しい
 感染症対策として公共交通機関の利用を抑えている その他 ()

問3-5 問3-1で回答した駅から自宅へ帰る際に、利用する交通手段を教えてください。(複数回答可)

- 自家用車 路線バス タクシー 自転車 徒歩 その他 ()

4. 買い物(日用品や食料品)に関するアンケート

問4-1 買い物(日用品や食料品)に出かける回数を教えてください。(一つのみ回答)

- 月に1回程度 隔週に1回程度 週に1回 週に2回~3回 週に4回~5回 週に6回以上

問4-2 買い物(日用品や食料品)で良く利用する地域を教えてください。(複数回答可)

- 木古庭 上山口 下山口 一色 堀内 長柄 町外

問4-3 問4-2で回答したお店へ行くときに主に利用する交通手段を教えてください。(複数回答可)

- 自家用車(自分で運転) 自家用車(家族等が送迎) 路線バス タクシー 自転車 徒歩
 鉄道 その他 ()

問4-4 (問4-3で「自家用車(自分で運転)」「自家用車(家族等が送迎)」と回答した方にお聞きします。)自家用車以外で、利用できる交通手段があれば教えてください。(複数回答可)

- 路線バス タクシー 自転車 徒歩 鉄道 なし その他 ()

問4-5 (問4-4で「なし」以外に回答した方にお聞きします。)問4-4で回答した交通手段を利用していない理由を教えてください。(複数回答可)

- 路線バスのコースがない 路線バスの本数が少ない バス停まで遠い 料金が高い
 タクシーがつかまらない 駐輪場がない・利用しづらい 自転車だと遠すぎる 自転車を持っていない
 自転車で行くには危ない 歩道がなく歩きづらい 歩きだと遠すぎる 体力的に厳しい 駅まで行きづらい
 感染症対策として公共交通機関の利用を抑えている その他 ()

問4-6 問4-2で回答したお店に良く行く時間帯を教えてください。(一つのみ回答)

- 8時~10時 10時~12時 12時~14時 14時~16時 16時~18時 18時以降

5. 趣味活動・地域交流・娯楽・外食等に関するアンケート

問5-1 趣味活動・地域交流・娯楽・外食等に出かける回数を教えてください。(一つのみ回答)
月に1回程度 隔週に1回程度 週に1回 週に2回~3回 週に4回~5回 週に6回以上

問5-2 趣味活動・地域交流・娯楽・外食で良く利用する地域を教えてください。(複数回答可)
木古庭 上山口 下山口 一色 堀内 長柄 町外

問5-3 問5-2で回答した地域へ行くときに主に利用する交通手段を教えてください。(複数回答可)
自家用車(自分で運転) 自家用車(家族等が送迎) 路線バス タクシー 自転車 徒歩
鉄道 その他()

問5-4 (問5-3で「自家用車(自分で運転)」「自家用車(家族等が送迎)」と回答した方にお聞きします。)自家用車以外で、利用できる交通手段があれば教えてください。(複数回答可)
路線バス タクシー 自転車 徒歩 鉄道 なし その他()

問5-5 (問5-4で「なし」以外に回答した方にお聞きします。)問5-4で回答した交通手段を利用していない理由を教えてください。(複数回答可)
路線バスのコースがない 路線バスの本数が少ない バス停まで遠い 料金が高い
タクシーがつかまらない 駐輪場がない・利用しづらい 自転車だと遠すぎる 自転車を持っていない
自転車で行くには危ない 歩道がなく歩きづらい 歩きだと遠すぎる 体力的に厳しい 駅まで行きづらい
感染症対策として公共交通機関の利用を控えている その他()

6. 通院に関するアンケート

問6-1 通院の回数を教えてください。(一つのみ回答)
月に1回程度 隔週に1回程度 週に1回 週に2回~3回 週に4回~5回 週に6回以上

問6-2 通院で良く利用する地域を教えてください。(複数回答可)
木古庭 上山口 下山口 一色 堀内 長柄 町外

問6-3 問6-2で回答した地域へ行くときに主に利用する交通手段を教えてください。(複数回答可)
自家用車(自分で運転) 自家用車(家族等が送迎) 路線バス タクシー 自転車 徒歩
鉄道 その他()

問6-4 (問6-3で「自家用車(自分で運転)」「自家用車(家族等が送迎)」と回答した方にお聞きします。)自家用車以外で、利用できる交通手段があれば教えてください。(複数回答可)
路線バス タクシー 自転車 徒歩 鉄道 なし その他()

問6-5 (問6-4で「なし」以外に回答した方にお聞きします。)問6-4で回答した交通手段を利用していない理由を教えてください。(複数回答可)

- 路線バスのコースがない 路線バスの本数が少ない バス停まで遠い 料金が高い
 タクシーがつかまらない 駐輪場がない・利用しづらい 自転車だと遠すぎる 自転車を持っていない
 自転車で行くには危ない 歩道がなく歩きづらい 歩きだと遠すぎる 体力的に厳しい 駅まで行きづらい
 感染症対策として公共交通機関の利用を控えている その他 ()

問6-6 問6-2で回答した病院へ良く行く時間帯を教えてください。(一つのみ回答)

- 8時～10時 10時～12時 12時～14時 14時～16時 16時～18時 18時以降

7. 公共交通に関するアンケート

問7-1 葉山町の公共交通について、満足度を教えてください。(一つのみ回答)

- 満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満

問7-2 (問1で「やや不満」「不満」と回答した方のみお答えください。)
具体的な理由を教えてください。

回答欄「

」

問7-3 その他、町の公共交通に関するご意見があればお聞かせください。

回答欄「

」

- 設問は以上です。ご回答ありがとうございました。
- このアンケート調査は無記名式の調査です。個人属性(居住地区・年齢・性別など)は記入していただきますが、回答は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。なお、回答結果につきましては、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。
- アンケートの回答期限は**12月26日(月)**です。
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。